

令和4年度 事業報告書

(P.1~90)

社会福祉法人 いわき市社会福祉協議会

目 次

令和4年度 事業報告	P. 1
主な重点事業	
1 重層的支援体制整備事業における多機関協働事業（市受託事業）	P. 2
2 いわき市社会福祉法人連絡会議	P. 3
3 住民支え合い活動づくり事業（市受託事業）	P. 4~5
4 住民支え合い事業	P. 6
5 つどいの場創出支援事業（市受託事業）	P. 7
6 生活・就労支援センター運営事業（市受託事業）	P. 8~10
7 生活困窮者生活サポート事業	P. 11~13
8 生活福祉資金（緊急小口資金・総合支援資金）特例貸付	P. 14~15
（県社協受託事業）	
9 法人後見事業	P. 16
10 日常生活自立支援事業（あんしんサポート／県社協受託事業）	P. 17

基本理念「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、
健康で自分らしく暮らせるまち いわき」

◇基本目標1 共に生きる社会をつくるために	P. 18~38
◇基本目標2 支え合い、誰もが安心できる地域をつくるために	P. 38~60
◇基本目標3 健康で自分らしい暮らしをつくるために	P. 60~65
◇組織および組織運営	P. 65~69
◇財源および財務運営	P. 70~72
◇職員体制および職員研修	P. 72~76

関係資料

◇住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況	P. 77
◇住民支え合い活動実施状況（第3層協議体）	P. 78~79
◇いわき市ボランティア活動助成状況	P. 80
◇社会福祉センター利用状況	P. 81
◇福島県共同募金会いわき市共同募金委員会 歳末たすけあい募金実績・配分結果	P. 82
◇福祉総合相談センター各相談実績報告	P. 83~84
◇生活福祉資金地区別取扱い状況一覧	P. 85~86
◇ホームヘルプセンター事業実施状況	P. 87
◇会員会費推進状況	P. 88~89
◇福島県共同募金会いわき市共同募金委員会実績	P. 90

令和4年度 事業報告

令和4年度の事業推進にあたっては、第4次地域福祉活動計画（令和3年策定）及び事業方針に掲げる重点項目に則した事業展開を実施することとしましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、各種事業の自粛や活動の制限を余儀なくされた事業運営となりました。

このような中、いわき市社会福祉協議会（以下、「本会」という。）では、コロナ禍においても地域福祉の中核を担う社会福祉協議会としての使命をはたすべく、工夫を凝らしながら「住民支え合い事業」をはじめ地区協議会が実施する様々な地域福祉事業の展開を図るとともに、特に支援を必要とする「日常生活自立支援事業（あんしんサポート）」や「法人後見事業」、「介護保険サービス事業」等の利用者に対して、切れ目のないサービスの提供に努めました。

また、コロナ禍においてさらに複合化、複雑化した課題を抱える市民からの相談を真摯に受け止め、関係機関と連携しながら重層的な相談支援を行うとともに、令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で生活に困窮する世帯に対する「生活福祉資金特例貸付」の相談支援を行い、必要に応じて「生活・就労支援センター」や令和4年度から事業改編した「生活困窮者生活サポート事業」の支援につなげる等、本会の持つ力を十分に活かし、組織横断的な体制での相談支援に努めました。

さらに、「重層的支援体制整備事業における多機関協働事業」や「いわき市社会福祉法人連絡会議」等の新規事業に取り組み、地域住民の複雑化・複合化した課題解決に対応する包括的な支援体制と市内の社会福祉法人が参画するネットワーク構築に努め、本会の基本理念である「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき」の実現に向け、取り組みました。

以下、主な重点事業及び第4次地域福祉活動計画に基づく事業実施状況について、報告します。

主な重点事業

1 重層的支援体制整備事業における多機関協働事業（新規）（市受託事業）

市町村において、既存の相談支援や地域づくりの支援の取組を活かし、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、①包括的相談支援事業（断らない相談窓口の設置）、②多機関協働事業、③アウトリーチ等を通じた継続的支援事業、④参加支援事業、⑤地域づくり事業を一体的に実施する重層的支援体制整備事業が創設された。

本会では、多機関協働事業を受託し、事業に関わる関係者の連携の円滑化を進めるなど、既存の相談支援機関をサポートし、包括的な支援体制が構築できるよう支援するもの。

(1) 実施状況

① 相談支援体制の構築に向けた説明会の実施

地区保健福祉センター、地域包括支援センター、地区障がい者相談支援センター、社会福祉協議会各地区協議会の職員向けに、市内4箇所ですべて4日間にわたりオンライン説明会を実施。

② 相談支援体制の構築に向けた研修会の実施

- ・開催日：令和4年11月18日
- ・内容：講話「盛岡市と盛岡市社会福祉協議会における取り組み」
トークセッション、本市における今後の事業運営について
- ・参加者数：62名

③ モデル地区との協議

令和4年度においては、平地区、内郷・好間・三和地区、小川・川前地区をモデル地区として選定し、ケースを調整。

④ 支援会議の開催

- ・開催日：令和5年3月30日
- ・内容：平地区において選定された3つの事案について関係機関で協議
 - 事案1 男性（40代） 障がい者（精神・知的）世帯
 - 事案2 女性（20代） 障がい者（精神・身体）世帯
 - 事案3 女性（50代） 障がい者（精神）と高齢者（精神障がいの疑い）の複合世帯

成果

実施初年度であることから説明会や研修会を実施し、関係者に対し事業や制度の理解に努めた。支援会議においては、介入拒否があり、介入の糸口が見つからない世帯への支援において、課題の解きほぐし・整理を行ったほか、現行の支援体制以外の関係機関も参画し、様々な視点での協議を行うことで、支援機関が介入の糸口の気づきを得、さらには、相談支援体制の更なる充実に繋がった。

2 いわき市社会福祉法人連絡会議（新規）

市内の社会福祉法人が一堂に会し、地域を取り巻く福祉に関する情報共有を図るとともに、法人間のつながりを強化し、地域貢献に対する情報交換の場となるよう開催した。

なお、連絡会議の開催にあたり、市内 46 法人に対しアンケート調査を実施した。

(1) 実施状況

① アンケート調査の実施

市内の社会福祉法人に「地域における公益的な取組」の進捗状況や、取り組む中での課題等について、アンケート調査を実施。

アンケート調査により、「地域における公益的な取組」の開催方法や、地域との関わり方等について課題を感じている法人が多いことが分かった。法人間で意見交換をしながら地域貢献が推進できるよう、本会として支援していきたい。

- ・ 調査期間：令和 4 年 8 月 26 日から 9 月 14 日まで
- ・ 調査方法：市内 46 法人に郵送にて依頼
- ・ 回答法人：26 件

② 法人連絡会議の実施

	開催日	主な内容	参加法人数
第 1 回	令和 4 年 11 月 30 日（水）	・ 趣旨説明 ・ アンケート調査集計結果について ・ 社会福祉協議会の取組について	14 法人
第 2 回	令和 5 年 3 月 13 日（月）	・ 社会福祉法人間のコミュニケーションツールの導入について ・ 地域における公益的な取組について	10 法人

成果

法人間で意見交換をすることで、各法人の「地域における公益的な取組」の取組状況や課題等を捉えることができ、今後、法人間でつながりを強化していくことの重要性を共有することができた。

また、第 2 層協議体や第 3 層協議体への参加呼びかけや、つどいの場、重層的支援体制整備事業等をはじめとした本会の事業等について、周知を図ることができた。

さらに、各法人の共通の課題である地域貢献について支援をしていくコミュニケーションツールの導入を図り、参加する法人同士でいつでも意見交換ができる仕組みをつくることができた。

3 住民支え合い活動づくり事業（市受託事業）

地域住民や企業など多様な主体による生活支援サービスの充実をめざし、地域で暮らす高齢者をはじめ、子育て世代、子どもや障がい者など何らかの関わりやつながりを必要とする方々にどのような支援が求められているのかを共に考え、できる・やりたい・必要と考える「住民支え合い活動」の創出を支援。

(1) 実施体制

- ア 総括生活支援コーディネーター 1名（地域福祉課）
- イ 地域福祉コーディネーター 13名（市内13圏域の各地区協議会に配置）
- ウ 生活支援コーディネーター 7名（地区保健福祉センター内の地区協議会に配置）

(2) 住民支え合い生活支援サービスの実施

高齢者等が抱えている生活課題や困り事に対応するため、必要な生活支援サービス（ゴミ出し・片付け・電球交換など）を提供し、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援。

※住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況については、関係資料P77

(3) 担当者会議の実施

- ア 年4回開催
- イ 第2層協議体会議の開催状況に関する情報共有
- ウ 住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況の確認

(4) 第2層協議体の設置・運営

- ア 第2層協議体の設置
13圏域（旧市町村）に設置
- イ 第2層協議体の構成員
20名程度で構成
主な構成員は、行政嘱託員（区長） 民生児童委員 老人クラブ 青年会 婦人会 民間企業
社会福祉法人 協同組合 NPO法人 ボランティアグループ 支え合い活動実践者 行政等
- ウ 第2層協議体の開催状況
年2回開催
※各地区の開催状況は次頁参照

(5) 第2層協議体における取り組み

- ア 住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況の確認
- イ 第3層協議体による支え合い活動の状況確認
- ウ 新たに住民支え合い活動に関心を示す行政区などへの働きかけ

【第2層協議体会議開催状況】

地区名	第11回	第12回	構成 員数	地区名	第11回	第12回	構成 員数
平	10月31日	2月27日	18	小川	11月17日	3月3日	17
小名浜	11月16日	3月1日	19	好間	10月28日	3月1日	19
勿来	11月15日	3月9日	17	三和	10月27日	2月28日	20
常磐	10月28日	2月27日	22	田人	11月21日	3月7日	18
内郷	10月25日	2月27日	16	川前	11月8日	2月27日	17
四倉	11月8日	2月20日	16	久之浜・大久	11月17日 (第10回)	3月1日 (第11回)	26
遠野	11月7日 (第12回)	3月1日 (第13回)	19	合計			244

成果

令和4年度は、第2層協議体会議において、事例を用いた意見交換を行った。それにより、地域における課題や必要な支援等について参加する構成員それぞれの立場で考え、意見交換を行うことで、住民支え合い活動に対する意識を高めるきっかけとすることができた。

また、支援を必要としている対象者からの相談だけでなく、民生委員、ケアマネジャー、近隣住民等、対象者を支える支援者側からの相談も多いことから、住民支え合い活動は広く周知され始めていると考えられる。

一方、市内の社会福祉法人による連携体制の構築のために開催した「社会福祉法人連絡会議」において住民支え合い活動について周知を図り、地域住民のみならず、民間企業や社会福祉法人等が情報共有を図りながら連携していく体制づくりに努めた。

引き続き、これまでの第3層協議体による住民支え合い活動に加え、第2層を圏域とした住民支え合い生活支援サービスを展開したことにより、重層的且つ広域的に支え合う機能を果たすことができた。

4 住民支え合い事業

地区協議会に配置の地域福祉コーディネーター（地区職員兼務）が生活支援コーディネーターと連携し、地域住民の生活圏域である行政区・自治会・小学校圏域を指定し、新たな第3層協議体（住民組織）の設置及び支え合い活動を支援。

(1) 事業内容

行政区・自治会・小学校区等における活動

- ア 地域の福祉課題や生活支援ニーズの解決に向けて協議する協議体の設置
- イ 避難行動要支援者マップを作成し、支援対象者の把握や地域資源を確認
- ウ 住民支え合い活動への理解を深めるための研修会の開催
- エ 支え合いサポーターの養成・登録
- オ 日常的な見守りや声掛け、話し相手などの訪問活動
- カ 住民同士の交流の場（つどいの場）の創出と展開
- キ 生活支援（ごみ出し、窓拭き、買物代行等）を実施
- ク その他関係する活動

※住民支え合い活動実施状況（第3層協議体）については、関係資料P78～P79

成果

住民支え合い活動（第3層協議体）実践者を第2層協議体構成員に含め、日頃の支え合い活動の状況や、新たな生活上の困り事に対する対応策の検討状況などに関する情報を共有し、住民支え合い活動の必要性について理解を図った。

また、新たに小名浜地区の上神白区、田人地区の荷路夫区の2地区に第3層協議体を設置したほか、市内46地区に第3層協議体を設置し、定期的な見守り訪問や必要な生活支援に取り組みながら、住民同士のつながりを強化することができた。

5 つどいの場創出支援事業（改編）（市受託事業）

高齢者を年齢や身体の状態によって分け隔てることなく、誰もが気軽に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指し、介護予防に役立つ活動を地域の実情に応じて充実させ、人と人とのつながりをとおして、参加者やつどいの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進。

これまで本会与NPO 法人地域福祉ネットワークいわきの2法人が市から事業委託を受け実施してきたが、令和4年4月からは、相談窓口の一本化を図り、よりきめ細かく運営支援を行っていく方針となり、本会に委託先を一本化することとなったことから、当事業の運営に係る職員を新たに5名配置（平・小名浜・勿来・常磐・本部）した。

(1) 実施体制

地域福祉コーディネーター 18名（市内13圏域の各地区協議会に配置）

(2) 実施内容

- ア 地域資源の整理
- イ コーディネート支援（活動プログラムに関する助言・講師派遣調整など）
- ウ つどいの場サポーターの養成
- エ はたらきかけ支援（新たに活動を検討する地域住民等に対する相談支援など）
- オ 運営支援
- カ 関係機関との情報共有

<地区別実施状況（補助金申請団体）>

地区名 (実施箇所数)	実施回数		地区名 (実施箇所数)	実施回数		地区名 (実施箇所数)	実施回数	
	延	利用		延	利用		延	利用
平 (61)	1,506	16,499	四倉 (20)	365	3,541	田人 (9)	93	808
	694			86			125	
小名浜 (42)	8,026	596	遠野 (9)	660	218	川前 (9)	942	113
	4,868			1,895			812	
勿来 (33)	317	2,737	小川 (13)	214	1,955	久之浜・大久 (7)	4,760	46,802
	375			58				
常磐 (18)	3,559	375	好間 (16)	500	58	合計 (273)	4,760	46,802
	3,559			500				
内郷 (26)	375	3,559	三和 (10)	58	500			
	3,559			500				

(令和3年度：283箇所/2,677回/27,005名)

成果

住民自らが自主的に活動できるよう働きかけを行い、新規団体として5団体（登録人数96名）が立ち上がった。令和3年度までは新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、つどいの場の活動も休止せざるをえない状況が多く見られていたが、令和4年度からはコロナに対応した生活様式が一般に浸透し、基本的な感染防止対策を取りながら通常開催へ移行する団体が多く見られた。

また、地域福祉コーディネーターが5名増となり、自主的に運営している105団体への訪問をはじめ、つどいの場及び参加者のニーズの把握やフォローアップ等に努めることができた。

6 生活・就労支援センター運営事業（市受託事業）

就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性やその他の事情により、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方や家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言をするほか、関係機関と連携しながら問題の解決に向けた支援。

(1) 新規相談件数 584 件

① 月別相談件数（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R4	63 (50)	66 (42)	82 (58)	72 (56)	68 (47)	121 (100)	16 (-)	13 (-)	25 (-)	21 (-)	16 (-)	21 (-)	584 (353)
R3	152 (108)	141 (125)	225 (203)	160 (129)	175 (148)	136 (114)	125 (97)	111 (93)	54 (42)	70 (50)	62 (45)	84 (69)	1,495 (1,223)

※（）内の数字は、新型コロナウイルスの影響による収入減等の相談件数

② 地区別相談件数（件）

地区	R4年度 (A)	R3年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
平	174	467	△293
小名浜	131	359	△228
勿来	68	167	△99
常磐	54	162	△108
内郷	49	114	△65
四倉	19	46	△27
遠野	2	17	△15
小川	10	15	△5
好間	41	66	△25
三和	1	2	△1
田人	2	2	0
川前	1	3	△2
久之浜・大久	7	13	△6
市外	11	27	△16
その他（不明を含む）	14	35	△21
合計	584	1,495	△911

③ 男女の別（人）

	R4年度		R3年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
男	376	64.4	907	60.7
女	208	35.6	588	39.3
合計	584	-	1,495	-

④ 年代別の人数と割合

	R 4 年度		R 3 年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
10代	7	1.2	9	0.6
20代	79	13.5	248	16.6
30代	114	19.5	306	20.5
40代	128	21.9	316	21.1
50代	131	22.4	303	20.3
60代以上	117	20.0	259	17.3
不明	8	1.4	54	3.6
合 計	584	—	1,495	—

⑤ 相談内容（国への月次報告実績）※内容の重複

内容	R 4 年度		R 3 年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
病気や健康、障がい	62	5.7	106	4.3
住まい	62	5.7	93	3.8
収入、生活費	510	46.7	1,352	55.4
家賃、ローン	73	6.7	161	6.6
仕事探し、仕事上のトラブル	158	14.5	360	14.8
引きこもり、不登校	15	1.4	21	0.9
その他(税の支払い、家族関係等)	212	19.4	346	14.2
合 計	1,092	—	2,439	—

⑥ 支援の状況（件）

		R 4 年度	R 3 年度
プラン作成数（再プラン含む）		100	121
就労支援対象者数（プラン期間中の一般就労を目標にしている）		60	63
法に基づく事業等利用	住居確保給付金	38	57
	一時生活支援事業	17	8
	家計改善支援事業	1	2
	就労準備支援事業	0	2
	認定就労訓練事業	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	91	114
その他	生活福祉資金による貸付	37	39
	生活保護受給者等就労自立促進事業	47	59
一般就労者総数		81	27
増収者総数		18	10

⑦ 支援調整会議の開催

支援を要する方に対し、適切な支援を行うため、現状把握、アセスメント、支援体制の確立及び関係機関との調整と役割分担、また地域資源のネットワーク化を行うことを目的に開催。

ア 開催状況	12回（毎月1回）
イ 内容	プラン作成100件、プラン終結90件（累計）
ウ 構成メンバー	いわき市、家計改善支援員、NPO法人明日飛子ども自立の里、いわき公共職業安定所、指定就労支援事業所、本会

(2) 本事業に関わる職員の役割

- ア 主任相談支援員（1名）：相談支援内容及び進捗状況確認、助言、指導等のマネジメント
- イ 相談支援員（3名）：アセスメント、プランの作成、支援調整会議、相談支援の実施
- ウ 就労支援員（2名）：就労意欲の喚起を含む支援、履歴書作成指導、就労後の定着支援等

成果

令和4年度の新規相談件数は584件で、前年度比61%減となった。その要因としては、令和4年9月に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金特例貸付が終了したことによるものと捉えているが、10月以降の相談件数は、コロナ禍前の水準で推移している。

また、相談者のうち、失業や収入減少・住居喪失・税金等の滞納・多重債務などが理由で、継続支援を希望したケース（プラン作成数）の割合が前年度の8.1%から17.1%と増加となり、就労支援や家計改善支援、食糧提供等の支援を行い、当該世帯の生活状況の改善や自立への一助につなげた。

7 生活困窮者生活サポート事業（たすけあい子育てフードバンク事業を改編）

金銭的に困窮し、食糧等の確保ができなくなり日常生活に著しく支障をきたしている方々に、企業・市民等から提供を受けた食糧や生活用品等を提供することで、生活困窮者支援団体等と連携・協働しながら総合的な相談対応を行い、生活の再建と自立に向けた支援を行うもの。

(1) たすけあいフードバンク事業

生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合会が運営する「コープフードバンク」及び企業・市民等から提供を受けた食糧等を生活困窮世帯及び児童養護施設等へ定期的に給付し、生活の安定や自立支援を行うもの。

ア 生活困窮世帯への給付：17世帯（※令和3年度は、たすけあい子育てフードバンク事業実績）

世帯区分	R4年度	R3年度
単身世帯	1	0
うち高齢世帯	(0)	(0)
うち障害者世帯	(1)	(0)
複数世帯	16	22
うち子どもがいる世帯	(16)	(22)
うちひとり親世帯	(15)	(18)
うち子どものみ世帯	(1)	(0)
うち高齢世帯	(0)	(0)
うち障害者世帯	(0)	(0)
合計	17	22

イ 地区別内訳

地区名	世帯数	地区名	世帯数	地区名	世帯数
平	5	四倉	2	田人	0
小名浜	3	遠野	0	川前	0
勿来	6	小川	0	久之浜・大久	0
常磐	1	好間	0	合計	17
内郷	0	三和	0		

ウ 児童養護施設等への給付：15件

(内訳)

いわき育英舎、サポートアクションいわき実行委員会（5件）、NPO 明日飛子ども自立の里
 NPO いわき自立生活センター、NPO 共生の杜青山、かしまコミュニティ食堂実行委員会
 勿来地区ボランティア連絡協議会、NPO 布紗、ボランティアサークルぴーぷる
 NPO MOCCS、「くらし・労働なんでも相談会」実行委員会

エ 企業・市民等からの寄贈：29件

(内訳)

・企業・団体：13件

東洋羽毛北部販売株式会社福島営業所、マルハンいわき店（5件）、株式会社営洋
 パルシステム福島株式会社、サポートアクションいわき実行委員会、
 株式会社ヨークベニマル（2件）、いわき泉ライオンズクラブ、ひまわり信用金庫

・市民：16件

(2) 一時的食糧等支援事業

食糧がない世帯やライフラインが止まっている世帯に対し、緊急的かつ一時的に食糧及び生活用品等を各地区協議会へ配備し給付を行うことで、当座の生活の安定を図り、当該世帯の自立に向けた就労支援や家計改善支援等につなげ、継続的な支援を行うもの。

ア 支援世帯：71世帯

世帯区分	R4年度
単身世帯	43
うち高齢世帯	(15)
うち障害者世帯	(2)
複数世帯	28
うち子どもがいる世帯	(14)
うちひとり親世帯	(8)
うち高齢世帯	(5)
うち障害者世帯	(1)
合計	71

イ 地区別内訳

地区名	世帯数	地区名	世帯数	地区名	世帯数
平	13	四倉	2	田人	0
小名浜	11	遠野	0	川前	0
勿来	11	小川	2	久之浜・大久	0
常磐	4	好間	13	合計	71
内郷	15	三和	0		

(3) 乳幼児のいる世帯支援事業

粉ミルクや離乳食・紙おむつ等を給付することで、当該世帯の生活状況の把握に努め、子どもの健全な育成と経済的自立や新たな支援の構築を図り、必要な支援につなげるもの。

ア 支援世帯数：5世帯

(4) DV被害者支援事業

NPO法人いわきふれあいサポートと連携し、DV被害者の経済的自立に向けた情報の提供や生活用品等の給付を行うもの。

ア 給付件数：75件

- ・配布物：トイレットペーパー、ティッシュペーパー、ハンドソープ、
歯磨き粉、洗濯洗剤、生理用品

成果

生活困窮者やその世帯が抱える多様な課題に対応するため、令和4年度より従来の「たすけあい子育てフードバンク事業」を「生活困窮者生活サポート事業」として事業改編を行い、たすけあいフードバンク事業を軸に、総合的な相談対応と生活再建・自立に向けた支援を実施した。

事業対象者を拡大したことで、従来の制度では対応できなかった単身世帯などへの支援につながり、関係機関と連携を図りながら世帯状況の確認を行うことで、生活の不安の解消と心の安定につながった。

また、市が設置した「いわき市生活困窮者支援官民連携プラットフォーム」に参画し、本事業の周知と、市内の生活困窮者支援団体との連携の強化を図るとともに、企業・市民等からの寄贈物品を支援団体間で融通し合う等、相互協力により多様化する課題に対応することができた。

8 生活福祉資金（緊急小口資金・総合支援資金）特例貸付

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休業や失業で、当座の生活費を必要とする世帯を対象に生活福祉資金（緊急小口資金・総合支援資金）特例貸付のため、令和2年3月25日から令和4年9月30日まで実施してきたが、令和5年1月から償還が開始することに伴い、償還免除・猶予の対象になる借受人等からの申請手続きに関する相談に対応。

(1) 相談対応状況

ア 相談件数 3,575件（電話による問い合わせ等を含む）

イ 特例貸付償還免除・猶予相談件数 363件

地区名	相談件数	地区名	相談件数	地区名	相談件数
本部	169	内郷	5	三和	0
平	63	四倉	11	田人	0
小名浜	13	遠野	0	川前	0
勿来	23	小川	0	久之浜・大久	0
常磐	72	好間	7	合計	363

(2) 令和4年4月1日から令和4年9月30日までの地区別申込み・決定件数

ア 緊急小口資金 339件（65,050,000円）

地区	申込受付 件数	申請者 住所地	決定 件数	不承認 件数	貸付決定金額（円）
本部	177				
平	52	110	107	3	20,900,000
小名浜	45	88	86	2	17,100,000
勿来	19	36	35	1	6,750,000
常磐	25	36	34	2	6,700,000
内郷	12	28	28	0	5,600,000
四倉	6	8	7	1	1,400,000
遠野	0	4	4	0	800,000
小川	1	6	6	0	1,200,000
好間	1	20	20	0	4,000,000
三和	0	0	0	0	0
田人	0	0	0	0	0
川前	0	0	0	0	0
久之浜・大久	1	3	3	0	600,000
合計	339	339	330	9	65,050,000

※不承認の理由は、同一世帯の重複申請と過去（東日本大震災）の特例貸付の滞納が主な理由。

イ 総合支援資金 378件 (202,900,000円)

地区	申込受付 件数	申請者 住所地	決定 件数	貸付決定金額 (円)
本部	253			
平	34	118	118	61,800,000
小名浜	40	97	97	53,250,000
勿来	18	46	46	25,900,000
常磐	19	37	37	19,800,000
内郷	8	29	29	15,600,000
四倉	0	11	11	5,400,000
遠野	0	2	2	1,050,000
小川	4	7	7	3,750,000
好間	2	26	26	13,650,000
三和	0	0	0	0
田人	0	2	2	1,200,000
川前	0	0	0	0
久之浜・炊	1	3	3	1,500,000
合計	378	378	378	202,900,000

成果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、一時的な収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となった世帯への一助となった。

総合支援資金特例貸付の申請にあたっては、生活・就労支援センターでの面談が必須となっているため、申請者に対して就労に向けた必要な情報の提供と助言を行った。

また、償還免除・猶予の相談において、生活全般に関する各種制度の情報提供に努めた。

**<参考> 令和2年3月25日から令和5年3月31日までの実績 ()内は、償還免除
いわき市**

貸付種別	決定件数	決定金額
緊急小口資金	3,243件 (971件)	619,622,000円 (186,135,930円)
総合支援資金	4,109件 (748件)	2,177,576,000円 (400,633,929円)
合計	7,352件 (1,719件)	2,797,198,000円 (586,769,859円)

県全体

貸付種別	決定件数	決定金額
緊急小口資金	16,589件 (4,950件)	3,108,456,000円 (920,366,185円)
総合支援資金	18,356件 (3,520件)	9,681,115,000円 (1,863,743,528円)
合計	34,945件 (8,470件)	12,789,571,000円 (2,784,109,713円)

9 法人後見事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本会が後見人になり、財産管理や身上監護を中心とする権利擁護サービスを提供。

(1) 事業対象者

いわき市在住で、他に適切な後見人等を得られない者のうち、次のいずれかの要件を満たす者。

- ア 日常生活自立支援事業（あんしんサポート）の利用者
- イ 市長申し立ての請求を行う者

(2) 令和4年度受任状況

区分（類型）	新規受任数	令和5年3月末 受任数
補助（判断能力が不十分な方）	0（0）	1（1）
保佐（判断能力が著しく不十分な方）	2（0）	3（1）
後見（判断能力が全くない方）	0（0）	4（5）
合計	2（0）	8（7）

*（ ）は、前年度実績

(3) 運営委員会の設置及び開催状況

後見業務の実施にあたり、受任の適否の判断、後見業務の指導を行い、適切な後見業務を担保するため学識経験者や法律関係者で構成される運営委員会を設置。

ア 委員構成 3名

委員長：鎌田 真理子氏（医療創生大学教養学部地域教養学科 教授）

副委員長：大和田 亮氏（福島県司法書士会いわき支部 司法書士）

委員：金田 康裕氏（福島県弁護士会いわき支部 弁護士）

イ 開催状況

	開催日	主な内容
第1回	令和4年12月21日（水）	・受任案件の報告8件 ・受任案件の助言4件 ・新規案件の審査1件
第2回	令和5年2月21日（火）	・受任案件の報告7件 ・新規案件の審査1件

成果

令和4年度の新規受任は2件となったが、その内1件が家庭裁判所からの審判結待ちとなった。既存の受任案件において、定期的に関係機関等と情報共有を行うとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う様々な制度の申請業務を行うなど、適切に権利行使を行うことができた。

10 日常生活自立支援事業（あんしんサポート／県社協受託事業）

判断能力が十分でなくなってきた方（認知症高齢者、知的・精神障がい者など）が、地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの援助。

(1) 本事業に関わる職員

- * 専門員：利用者の状況やニーズを把握し、自立支援に向けて適切な援助を行うため初期相談及び契約の締結、支援計画の作成を行う。（常勤3名）
- * 生活支援員：専門員が作成する支援計画に基づき、具体的な支援を行う。（非常勤35名）
- * 地区協議会職員：初期相談を対応し、専門員が契約するにあたっての調整役を担う。

(2) 相談の状況

(件)

	問い合わせ	初回相談	継続等相談援助	合計
1 認知症高齢者	14	2	1,655	1,671
2 知的障がい者	4	1	1,208	1,213
3 精神障がい者	19	7	1,054	1,080
4 不明・その他(身体障がい者他)	22	3	339	364
計	59	13	4,256	4,328

(令和3年度： 55件 49件 3,720件 3,824件)

(3) 契約の状況 9件（令和3年度：13件）

(内訳：認知症高齢者4件 知的障がい者2件 精神障がい者3件 その他0件)

(4) 地区別利用者の状況（継続利用者 74名）

(名)

地区名	R4年度末(A)	R3年度末(B)	比較増減 (A) - (B)
平	22	25	3
小名浜	10	7	3
勿来	3	7	△4
常磐	17	18	△1
内郷	14	12	△2
四倉	5	4	1
小川	1	1	0
好間	1	1	0
久之浜・大久	1	1	0
合計	74	76	△2

(5) 関係機関・団体等への制度周知（講師派遣） なし

成果

利用者の生活状況に応じた福祉サービスの利用や状況に応じた制度の申請援助を行うことで、利用者の安心安全な生活につながった。また、利用者の半数以上は、在宅生活であり、浪費・多重債務・消費者被害などの問題に遭遇しやすい状況にあるが、定期的に専門員や生活支援員が関わることで、問題を早期に発見し、関係機関と連携を図りながら解決に努めた。

基本理念「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき」

基本目標 1 共に生きる社会をつくるために

基本計画 1-1 本人の意思の尊重

基本計画 1-2 子ども・子育て支援の充実

実施項目／実施内容

備考

○ **子育てサロン事業**

子育て中の方々が子育てに関する情報交換や悩みの共有化を図り、孤立・不安・競争の子育てから、協働・安心・信頼の子育てができるよう、地域の民生児童委員や主任児童委員、ボランティア等と連携し、子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりや出会いの場づくりができる子育てサロンの拡充強化に努めた。

地区別実施状況

地区名	実施箇所	実施回数	延べ参加組数	内容
平	6	31	122	季節行事や自由遊び、情報交換等
小名浜	1	23	155	〃
勿来	1	7	48	〃
常磐	2	10	41	〃
内郷	0	0	0	募集したが、参加者がなかったため中止
四倉	1	8	17	季節行事や自由遊び、情報交換等
遠野	1	8	74	〃
小川	1	6	19	〃
好間	1	9	54	〃
三和	1	3	20	〃
田人	1	9	90	〃
久之浜・大久	1	9	30	〃
計	17	123	670	

(令和3年度：65回 395組)

成果

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止せざるを得ないことが多かったが、今年度からは規制が緩和されたこともあり、基本的な感染防止対策を取りながら開催するサロンが多く見られた。

子育て中の親子が気軽に集い交流し、子育ての不安や悩み等を話し合うことにより、安心して子育てができるよう環境づくりに努めるとともに、子育てコンシェルジュの参加協力を得て、子育て支援関連の情報提供も行った。

○ **子育てサロン歳末支援事業の推進**

歳末たすけあい運動の一環として、各地区協議会主催の子育てサロで行うクリスマス会等の活動に対し、その経費の一部を助成することにより、子育て親子が明るく元気に新年を迎えられるよう支援した。

- ・ 事業実績 343名（令和4年度：341名）

成果

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開催場所の貸出し休止等もあったが、各地区協議会で実施している子育てサロンへの参加促進が図られた。

○ **地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば）※市受託事業**

親子のふれあいと、父母等、子ども同士が気軽に交流できる場とするとともに、子育てに関する悩みや不安等の相談に応じ、市内の子育て支援関連の情報提供などに努めた。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、利用人数を制限しながらの実施となった。

年間利用者数

（単位：名）

大人	子ども	合計	育児などに関する 相談件数（件）
2,126	2,233	4,359	128

（令和3年度：2,539名 相談件数：117件）

成果

コロナ禍であったが、子育て中の親等からの相談に応じ、子育てに関する助言を行うとともに、市内の子育て支援関連の情報提供をすることができた。

○ **いわき市屋内遊び場管理運営事業（いわきっず もりもり）※市受託事業**

子どもたちが安心して遊べる場の確保を目的に、小学校低学年までの児童を対象とした、無料の屋内遊び場の管理運営に努めた。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開放時間・回数及び利用人数を制限しながらの実施となった。

令和4年3月16日に発生した福島県沖地震により被害を受けた、いわき市石炭化石館「ほるる」の堅坑櫓の解体工事により、令和4年5月10日から、休館となった。

年間利用者数 (単位：名)

いわきっず もりもり (いわき市石炭化石管内)		
大人	子ども	合計
745	996	1,741

(令和3年度：10,229名)

成果

令和4年5月9日までは、コロナ禍においても、子どもたちが安全に遊べるよう適切な運営管理に努めるとともに、市内の子育て支援関連の情報提供をすることができた。

○ **生活困窮者生活サポート事業（たすけあい子育てフードバンク事業を改編）**

再掲
P.11
～13

○ **産前・産後ヘルパー派遣事業 ※市受託事業**

出産後の養育についての支援が必要な妊婦及び保護者並びに養育が必要な児童に対し、ホームヘルパーを派遣する産前・産後ヘルパー派遣事業を実地することにより、妊娠、出産、育児期における育児不安の解消や心身の不調による育児不安の軽減並びに児童の適切な養育環境の確保を図った。

(1) 事業対象者

市内に居住し、在宅生活をしている者であって、次の各号に掲げる者のうち、ホームヘルパーの派遣を行うことが、適当であると市長が認めた者

ア 出産後の養育について出産前に支援を行うことが特に必要と認められる妊婦

イ 出産後の家庭訪問その他の手段により把握した保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童及び保護者

ウ 保護者に監護させることが不相当であると認められる児童及び保護者

(2) 支援内容

ア 食事の準備、後片づけ・衣類の洗濯、補修 ・居室等の清掃、整理整頓・買い物

イ その他必要と認められる育児、家事援助

<p>(3) 利用状況</p> <p>ア 相談のみ件数 1件 (令和3年度 2件)</p> <p>イ 利用件数 10件 (令和3年度 9件)</p> <p>成果</p> <p>サービス利用者数はわずかに増加、サービス終了後も障がい福祉サービスで利用するケースもあり、継続した支援につながっている。</p>	
---	--

基本計画 1-3 高齢者福祉の充実

実施項目/実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.6
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.4 ~5
○ つどいの場創出支援事業 (改編) ※市受託事業	再掲 P.7

○ **いわき・ふれあい・ふくし塾運営事業 ※市受託事業**

温かい思いやりとふれあいに支えられた福祉のまちづくりを推進するため、できるだけ多くの市民が福祉に関心を持ち、福祉の心を育み、共に福祉のまちづくりに参加してくれることを願って開塾した。

(1) 実施場所 いわき市社会福祉センター

回数	開催日	講義内容	出席人数
1	令和4年 10月15日	「地域の中の支え合い～住民支え合い活動実践例～」 平24区 城山結いの会 会長 木澤 光一 氏 窓口担当者 志賀 富恵 氏 富岡 加津江 氏	10名
		「シルバーリハビリ体操について」 いわき市地域包括ケア推進課 主事 渡辺 ゆのか 氏 シルバーリハビリ体操指導士 蛭田 由加理 氏 坂本 睦美 氏	
2	11月21日	「ボランティアをしてみよう」 特定非営利活動法人ザ・ピープル 理事長 吉田 恵美子 氏	8名
3	12月中	ボランティア体験 (期間内に各自1～2回)	/
4	1月中		
5	2月11日	「認知症サポーター養成講座」 認知症キャラバンメイト 渡辺 成子 氏	7名

ボランティア体験

回数	開催日	ボランティア体験先	活動内容	参加人数
1	12月3日	グリーンバード	いわき駅周辺のゴミ拾い	3名
2	12月5日	NPO 法人ザ・ピープル	古着の仕分け	2名
3	12月12日	〃	コットン人形作り指導支援	3名
4	12月17日	グリーンバード	内郷駅周辺のゴミ拾い	3名
5	1月7日	〃	いわき駅周辺のゴミ拾い	1名
6	1月17日	いわき地域若者サポートステーション	地域食堂プレオープン支援	4名
7	1月21日	グリーンバード	内郷駅周辺のゴミ拾い	2名

○ **各種事業の開催（介護予防教室・介護技術講座等）**

高齢者の介護が課題となっているなか、介護の問題を社会全体で支えるという視点に立ち、地域住民に対する介護の啓発や介護に関する知識と技術の普及を図るとともに、高齢者を地域で支える活動に資するため開催。

1 介護講座

○三和地区

開催日：令和4年7月20日

場 所：三和ふれあい館

参加者：18名

○小名浜・久之浜・大久地区

介護講座を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2 介護予防講座

○勿来地区

男の料理教室

開催日：令和5年2月21日、3月7日

場 所：山田公民館

参加者：延 37名

○小川地区

開催日：令和4年12月23日

場 所：小川公民館

参加者：12名

○好間地区

開催日：令和5年3月7日

場 所：好間公民館

参加者：21名

成果

参加者同士の交流を深めながら運動機能を高める健康体操を実施し、参加者は継続して運動を行う必要性を学ぶことができた。

3 高齢者ふれあいの集いの開催

○常磐地区

湯～らり温泉めぐり事業を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○内郷・四倉・田人・久之浜大久地区

高齢者ふれあいの集いを予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○川前地区

地域高齢者交流事業

開催日：令和4年4月から令和5年3月まで 計8回

場 所：川前公民館

参加者：延 82名

内 容：運動等

成果

60歳以上の方々の運動を兼ねたコミュニケーションの場として開催することができた。

○ 住居環境整備・補修等サービス事業の実施

歳末たすけあい運動の一環として、援護を必要とする低所得の在宅高齢者単身世帯を対象に、障子張りサービスを提供し、明るくフレッシュな気持ちで新年を迎えられるよう支援するとともに、シルバー人材センターに業務を発注することにより高齢者の雇用創出にも寄与した。

- ・ 事業実績 15件（令和3年度：9件）

成果

新しい障子により明るくリフレッシュな気持ちで新年を迎えることができ、ひとり暮らし高齢者の心のケアにつながった。

○ 介護用防水シート給付事業の推進

歳末たすけあい運動の一環として、常時寝たきりの状態にある在宅高齢者世帯等に対し、民生児童委員の協力のもとに介護用防水シートを給付し、在宅での生活や介護を支援した。

- ・ 給付人数 126名（令和3年度：150名）

成果

給付により、介護者の負担軽減が図られた。

○ 青少年福祉体験学習事業

1 高齢者疑似体験

加齢にともなう身体的機能と心理的な変化が、日常生活にもたらすさまざまな影響を体験的に理解する機会を提供するため、児童・生徒や地域住民等を対象に高齢者疑似体験セットを無料で貸し出し、高齢者福祉に対する関心と理解の促進に努めた。

・貸出件数 体験セット 28件 333セット（令和3年度：21件 208セット）
車椅子 6件 15台（令和3年度：10件 30台）

2 福祉体験プログラム（福祉講話、手話体験、点字体験）

<福祉講話>

地区	学校名	開催日	参加人数
平	平第一小学校	令和4年11月28日	62名
小名浜	小名浜東小学校	令和4年10月11日	76名
勿来	植田小学校	令和5年2月1日	85名
内郷	御厩小学校	令和4年6月1日	46名
小川	小川小学校	令和4年9月30日	28名

<手話体験>

地区	学校名	開催日	参加人数
平	平第二小学校	令和4年7月5日	58名
	平第一小学校	令和4年10月25日	62名
小名浜	泉北小学校	令和4年9月22日	74名
	小名浜第三小学校	令和4年10月11日	71名
	小名浜東小学校	令和4年10月11日	76名
	小名浜第一小学校	令和4年11月17日	62名
	渡辺小学校	令和4年11月24日	12名
勿来	磐城農業高校	令和4年9月28日	20名
	勿来高校	令和4年10月25日	23名
	植田小学校	令和4年12月8日	85名
常磐	磐崎小学校	令和4年10月17日	79名
内郷	御厩小学校	令和4年6月13日	46名
四倉	大浦小学校	令和4年11月15日	47名
小川	小川小学校	令和5年1月17日	24名
好間	好間第一小学校	令和4年11月29日	54名
久之浜 ・大久	久之浜中学校	令和4年9月12日	25名
	久之浜第一小学校	令和5年2月22日	24名

※点字体験は実施なし。

成果

車いすや高齢者疑似体験セットを学校や地域住民等に貸し出すことにより、福祉教育の充実強化と福祉意識の醸成を図ることができた。

○ サマーショートボランティアスクール事業

第31回サマーショートボランティアスクールの実施

高校生を対象に、夏休みの期間を利用しボランティア活動を体験する場を提供し、今後のボランティア活動への積極的な参加を促すことを目的に実施した。

なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各施設等での体験は行わず、講話のみの実施とした。

- ・開催日：令和4年8月8日
- ・場所：いわき市社会福祉センター 大会議室
- ・内容：①講話 勿来高校生徒によるボランティア活動の発表
②VR 認知症体験
- ・参加学校数：7校
- ・参加生徒数：17名

成果

高校生の福祉やボランティア活動への理解をより深めることができた。

○ **福祉人材センター協力指定事業 ※県社協受託事業**

地域住民に福祉サービスについての啓発を行うとともに、福祉マンパワーの確保対策の推進を図った。

- ・福島県福祉人材センターが実施する事業についての協力・支援の実施
社会福祉施設への就労を希望する者（学生を含む）に対し、福祉の職場、職種等についての相談会をいわき市社会福祉センターにおいて、毎月第2水曜日（午前10時30分から午後2時30分まで）に開催。
- ・福祉人材センター求職登録の受付及び相談 15件（令和3年度：11件）
- ・福祉の職場合同就職説明会（年1回）への協力

成果

福祉の仕事に係る広報活動、情報提供を行うことによって、福祉分野への理解や関心を深め、人材不足である福祉の職場における人材の確保につながった。

○ **介護保険事業**

1 居宅介護支援事業

介護保険制度において、多様なサービス提供主体（事業者）による各種の介護サービスが総合的、一体的、効率的に提供されるよう、利用者側のサービス選択を基本に、高齢者とその家族を支援することを目的に実施。

<利用者状況>

利用者延数 1,674名（令和3年度：2,234名）

成果

特定事業所加算事業所としての要件を満たしつつ、利用者のサービス選択を重視し、偏りのないサービス計画により、利用者及び介護者や家族を支援した。

2 施設訪問調査事業の実施

いわき市内における施設入所者の要介護認定更新に係る調査、及びいわき市外からの委託に

関係
資料
P.87

よる施設入所者・在宅生活者の要介護認定更新に係る調査の実施。

- ・ 調査件数 15 件 (いわき市分: 0 件 いわき市以外分: 15 件)
 [令和3年度 15 件 (いわき市分: 0 件 いわき市以外分: 15 件)]

成果

コロナ禍で認定期間が1年延長になったことに伴い、調査件数が減少傾向にある中で、依頼を受けたケースについては、迅速かつ適切に対応した。

○ **訪問介護事業**

介護保険制度で要介護と認定された高齢者等を対象に、契約に基づきホームヘルパーを派遣し、生活支援や身体介護などのサービスを提供。

関係資料 P.87

＜訪問介護サービス事業利用状況＞

対象者 (介護保険認定者)	実施回数 (回)				利用者延数 (名)
	生活援助	身体生活	身体介護	計	
	2,762	87	978	3,827	414

(令和3年度: 4,213回 508名)

成果

ホームヘルパーの人員確保が困難な状況にあるなか、特定事業所加算事業所の継続や研修によるホームヘルパーの質の維持向上に努め、積極的に他事業所が参入しない中山間部や困難ケースへの対応に努めた。

○ **訪問入浴介護事業**

介護保険制度で要介護と判定された高齢者等を対象に、契約に基づきホームヘルパーを派遣し、特殊浴槽と温泉利用による入浴の介護や身体介護などのサービスを提供。

関係資料 P.87

＜訪問入浴サービス事業利用状況＞

対象者 (介護保険認定者)	実施回数 (回)			利用者延数 (名)
	入浴	清拭	計	
	1,804	52	1,854	462

(令和3年度: 1,872回 436名)

成果

看護師や介護人材の確保に努めサービスの希薄な中山間地域、医療依存度が高い利用者や末期癌ターミナルの利用者へのサービス提供など、利用者のニーズに対応しながら事業の効率化を図り、質の高いサービスの確保と提供に努めた。

○ **予防訪問介護事業**

介護保険制度における予防給付として、要支援1及び要支援2と判定された高齢者等の生活機

関係資料

能の維持・向上を図るため、契約に基づきホームヘルパーを派遣して、家事や入浴、排泄支援などの介護予防サービスを提供。

P.87

対象者 (介護保険認定者)	実施回数(回)	利用者延数(名)
	1,150	221

(令和3年度：1,435回 280名)

成果

サービス提供の制限とヘルパーの減少という厳しい状況のなかで、質の高いサービスの確保と提供に努めた。

○ 予防訪問入浴介護事業

介護保険制度における新予防給付として、要支援1及び要支援2と判定された高齢者の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づきホームヘルパーを派遣して、特殊浴槽と温泉利用による入浴の介護や身体の介護などの介護予防サービスを提供。

関係資料
P.87

対象者 (介護保険認定者)	実施回数(回)			利用者延数(名)
	入浴	清拭	計	
	0	0	0	0

(令和3年度：0回 0名)

○ ケア会議への参画

1 中地域ケア会議への参画

介護保険制度に基づき、地区保健福祉センターで設置している「中地域ケア会議」へ参画し、関係機関・団体の連携により、高齢者・障がい者・子どもなどが地域で暮らし続ける上での日常的な医療・介護・子育てなどを中心とした諸課題の解決に向けて協議した。

地区名	実施日
平	令和4年 7月28日 令和5年 1月20日(書面審議) 2月24日
小名浜	令和5年 3月9日(書面審議)
常磐・遠野	令和5年 2月16日
内郷・好間・三和	令和4年 7月7日 令和5年 2月16日
四倉・久之浜大久	令和4年 7月7日 令和5年 3月2日
小川・川前	令和4年 10月13日 令和5年 2月15日

2 地域ケア会議への参画

地域ケア会議(地域包括支援センター主催)に積極的に参画し、高齢者を地域で支えるた

めの体制づくりに努めた。

<小地域ケア会議>

地区名	実施日
平	令和4年 6月26日
	9月 1日
	10月 6日
	令和5年 1月12日
	3月 2日
小名浜	令和4年 6月 9日
	10月13日
	11月 8日
	令和5年 1月12日
	1月17日
	2月 9日
	2月16日
勿来・田人	令和5年 3月20日
常磐・遠野	令和5年 2月 1日
三和	令和4年12月20日

<個別ケア会議>

地区名	実施日
平	令和5年 2月16日
小名浜	令和4年 5月17日
	11月29日
勿来・田人	令和4年 7月13日
	9月27日
	11月14日
常磐	令和4年 9月29日
	令和5年 1月16日
内郷	令和5年 3月20日

<ネットワーク会議>

令和4年 5月27日 川前地区高齢者等支援ネットワーク連絡会役員会／川前公民館

令和5年 3月10日 川前地区高齢者等支援ネットワーク連絡会検討会／川前公民館

成果

地域包括支援センターや関係機関との協働により、高齢者の生活実態や生活支援ニーズを把握することができたことから、今後も課題を分析しながら、課題解決に向け取り組んでいく。

基本計画 1-4 障がい者福祉の充実

実施項目／実施内容

備考

○ 住民支え合い事業	再掲 P.6
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.4 ～5
○ いわき・ふれあい・ふくし塾事業 ※市受託事業	再掲 P.21
○ 青少年福祉体験学習事業	再掲 P.23 ～24
○ サマーショートボランティアスクール事業	再掲 P.24 ～25
○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート）※県社協受託事業	再掲 P.17
○ 成年後見（法人後見）事業	再掲 P.16

○ 車椅子同乗移送用自動車貸出事業

自力で歩行が困難な高齢者や障がい者等に、車椅子のまま同乗できる移送車両を無料で貸し出し、通院や福祉サービスの利用、社会参加や生きがいづくり、さらにはリフレッシュを図る等の外出を支援した。（平地区2台、勿来地区1台の合計3台車両を配置）

(1) 貸出状況

	令和4年度	令和3年度	比較増減
平地区車両	154 (71)	202 (73)	△48 (△2)
勿来地区車両	98 (57)	113 (58)	△15 (△1)
合計	252 (128)	315 (131)	△63 (△3)

* () は、貸出のうち2日間の利用件数

(2) 地区別利用件数

地区	令和4年度	令和3年度	比較増減
平	69	85	△16
小名浜	22	25	△3
勿来	69	98	△29
常磐	1	2	△1
内郷	24	22	2
四倉	21	30	△9
遠野	0	0	0
小川	2	0	2

好 間	6	4	2
三 和	12	13	△ 1
田 人	21	26	△ 5
川 前	1	10	△ 9
久之浜・大久	4	0	4
合 計	252	315	△63

成果

前年度に比べ、新型コロナウイルスのワクチン接種での外出が落ち着き実績は減となっているが、通院や買い物等での活用は徐々に増えており、高齢者や障がい者等の社会参加や生きがいがづくりに寄与することができた。

○ **車椅子貸出事業の実施**

自力で歩行が困難な高齢者や障がい者等に、車椅子を無料で貸し出し、通院や福祉サービスの利用、社会参加や生きがいがづくり、さらにはリフレッシュのための外出等、日常生活を支援した。

〈貸出状況〉

- ・貸出件数 79 件（令和 3 年度：92 件）

成果

通院や買い物等での使用で、高齢者や障がい者等の社会参加や生きがいがづくりに寄与することができた。

また、ケガ等に伴い、一時的な使用で日常生活を送る上での一助になった。

○ **介護保険事業**

再掲
P.25
～27

○ **障がい福祉サービス事業（指定居宅介護事業）**

介護を要する在宅の障がい者世帯へホームヘルパーを派遣し、障がい者の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づき家事や入浴排泄支援など居宅介護サービスを提供。

関係
資料
P.87

〈居宅介護サービス事業利用状況〉

対象者 (障がい支援区分認定者)	実施回数 (回)			利用者延数 (名)
	生活援助	身体介護	計	
	602	134	736	133

(令和 3 年度： 1,334 回 212 名)

成果

他事業所の参入が少ないことや困難ケースが多いなかで、利用者・実施回数ともに若干の減少があったものの身体介護サービスが増加傾向にあることから、今後も質の高いサービスの確保と提供に努めていきたい。

○ **身体障がい者訪問入浴サービス事業**

入浴に介護を要する在宅の障がい者世帯へホームヘルパーを派遣し、温泉利用による入浴介護や部分清拭などサービスを提供。

関係資料 P.87

対象者 (65歳未満の身体障がい者等)	実施回数(回)			利用者延数 (名)
	入浴	清拭	計	
	585	2	587	86

(令和3年度： 657回 118名)

成果

コロナ禍によりサービスを控える利用者が増えたことにより、利用者・実施回数が減少したが、利用者ニーズの対応の変化に併せたサービスの提供と確保に努めていきたい。

○ **当事者団体活動助成事業(市盲人福祉協会・市腎臓病患者友の会)**

当事者団体が実施する事業を支援し、団体の円滑な運営と当事者の福祉向上を図ることを目的に助成金を支出した。

・ **助成金の支出**

支援団体：2団体(令和3年度：2団体)

配分総額：70,000円(令和3年度：70,000円)

成果

当事者団体を支援することにより、団体の円滑な運営と当事者の福祉向上を図ることができた。

○ **小規模障がい者施設支援事業の実施**

歳末たすけあい運動の一環として、いわき市内の小規模障がい(児)者通所施設が行うクリスマス会等に対し、給食費等の一部を助成することにより、施設利用者が明るく元気に新年を迎えられるよう支援した。

・ 事業実績 57施設 1,563名(令和3年度：53施設 1,299名)

成果

歳末時期の障がい者福祉の一環として推進が図られた。

基本計画1-5 生活困窮者対策の充実(所得、就労、住居など)

実施項目/実施内容

備考

○ 住民支え合い事業 再掲
P.6

○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業 再掲
P.4
～5

○ 福祉総合相談事業 関係
資料
P.83
～84
 地域住民の日常生活におけるさまざまな問題やニーズに対し、助言・指導や専門機関への紹介等を行い、地域住民の生活不安等の問題解決や福祉の増進に努めた。

1 相談状況

開設相談	開設延日数	利用者			相談件数	処理状況	
		男	女	計(名)		処理区分	件
○福祉総合相談	246	1,360	922	2,282	2,340	解決	1,671
						継続	572
						紹介	71
						その他	26
○法律相談	12	30	34	64	64	/	
○ボランティア相談	246				60		
○日常生活自立支援事業相談(あんしんサポート)	246				4,328		
合計					6,792		

(令和3年度：8,554件)

成果

複合的な困りごとを抱えているケースや、生活に困窮しているケースなどの相談の割合が多く、生活就労支援センターや地区保健福祉センター等の関係機関と連携を図りながら対応にあたることで、相談者の困りごとに対し、多面的な支援を行った。

○ 生活困窮者生活サポート事業(たすけあい子育てフードバンク事業を改編) 再掲
P.11
～13

○ 児童養護施設歳末支援事業
 市内の児童養護施設(いわき育英舎)の子どもたちへ、一般家庭と同様に「お年玉」を支給するとともに、高校を卒業し、就職または進学する子どもたちへ、就職支度費及び進学支度費として、新生活に必要なものを購入するための就職・進学準備金としてお祝金を支給した。

(1) 支給金額

ア お年玉

対象者	支給金額	人数	合計金額
幼児	2,000円	3(4)	6,000円(4,000円)

小学生	3,000円	12 (13)	36,000円 (39,000円)
中学生	5,000円	8 (9)	40,000円 (45,000円)
高校・専修学校等	5,000円	11 (11)	55,000円 (55,000円)
合計		34 (37)	137,000円 (143,000円)

※幼児の支給金額を1,000円から2,000円に増額

イ お祝い金（就職・進学準備金）

対象者	支給金額	人数	合計金額
就職・進学予定者	50,000円	4 (7)	200,000円 (350,000円)

* () は、前年度の実績

成果

児童養護施設（いわき育英舎）の子どもたちへお年玉を支給することにより、日本の慣習に触れる機会となり、普段購入できないものを購入できる喜びを味わい、明るい気持ちでお正月を迎えてもらうことができた。また、新社会人等に就職等準備金を支給することにより、新たな生活を送る上での一助につながった。

○ **七五三お祝い支援事業（新規）**

生活に困窮する世帯の子どもたちを対象に、子ども成長を祝う日本の伝統行事である「七五三お祝い」に触れる機会の確保と子どもたちが心豊かに、健全に育っていくための一助になることを目的に iwaki ヘアメイクアカデミーの協力を得て実施した。

- ・ 開催日 令和4年10月10日（月）
- ・ 場 所 いわきアリオス 中劇場
- ・ 内 容 iwaki ヘアメイクアカデミー主催のヘアショーにモデルとして参加し、七五三の着付けを実施。併せて、保護者との記念撮影とアルバムを作成し配布。
- ・ 参加人数 8名
 - ①生活困窮者生活サポート事業利用世帯 3世帯4名
 - ②児童養護施設いわき育英舎入所児童 4名

成果

日本の伝統文化である着物を着用し、伝統行事に触れる機会を確保することができ、子どもの健全な育成の一助につながった。

また、iwaki ヘアメイクアカデミーと協働で実施したことで、福祉関係以外の業種との連携を深めることができた。

○ **クリスマス支援事業**

18歳以下の子どもがいる生活困窮世帯を対象に生活状況の把握と子どもの健全な育成の一助となることを目的に、歳末たすけあい募金の配分事業として、クリスマスケーキとプレゼント（お菓子）の配布と生活状況の把握を実施した。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日 令和4年12月22日(木)・23日(金) ・ 配布実績 40世帯 子ども105人 <ul style="list-style-type: none"> ①生活困窮者生活サポート事業 利用世帯 18世帯・子ども47名 ②子どもの学習環境整備事業 利用世帯 5世帯・子ども11名 ③自立相談支援事業 利用世帯 2世帯・子ども4名 ④NPOいわきふれあいサポート 支援世帯 5世帯・子ども6名 ⑤市支援対象児童等見守り強化事業 利用世帯 10世帯・子ども37名 <p>成果</p> <p>経済的な理由からクリスマスケーキを諦めていた世帯もあり、楽しいクリスマス提供することができ、子どもの健全な育成の一助につながった。</p>	
<p>○ 親子ふれあいバスハイク事業 (新規)</p> <p>生活に困窮する世帯の子どもたちを対象に、親や祖父母と季節感のある余暇活動を楽しむ機会と子どもたちが心豊かに、健全に育っていくための一助となることを目的に、歳末たすけあい募金の配分事業として実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日 令和5年1月29日(日) ・ 場所 ヘレナリゾートいわき・アクアマリンふくしま ・ 参加人数 6世帯 25名 <ul style="list-style-type: none"> ①生活困窮者生活サポート事業 利用世帯 3世帯12名 ②子どもの学習環境整備事業 利用世帯 2世帯8名 ③市支援対象児童等見守り強化事業 利用世帯 1世帯5名 <p>成果</p> <p>経済的な理由から家族旅行の経験が乏しい世帯に対し、バス旅行を実施したことで、親子での交流を深める機会となった。水族館の見学やいちご狩り体験を通して、楽しい思い出が出来たことで、子どもの健全な育成の一助につながった。</p>	
<p>○ 生活・就労支援センター運営事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.8 ～10</p>
<p>○ 重層的支援体制整備事業における多機関協働事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.2</p>
<p>○ 生活資金貸付事業</p> <p>低所得世帯であって、一時的に生活費・医療費・修学費、その他これらに準ずる経費に困窮する世帯に対し、経済的自立の助長あるいはその世帯の生活安定を図るための資金貸付を行った。</p> <p>1 生活資金貸付状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貸付決定件数： 157件 (令和3年度：125件) ・ 貸付決定総額： 2,543,800円 (令和3年度：2,291,034円) 	

<内訳>

取扱地区	貸付決定 件数 (件)	貸付決定総額 (円)	取扱地区	貸付決定 件数 (件)	貸付決定総額 (円)
平	91	1,326,000	小川	0	0
小名浜	18	329,000	好間	3	60,000
勿来	18	299,800	三和	0	0
常磐	13	319,000	田人	2	45,000
内郷	12	165,000	川前	0	0
四倉	0	0	久之浜・大久	0	0
遠野	0	0	合計	157	2,543,800

成果

生活保護受給までの生活費や生活福祉資金決定までのつなぎなど、緊急一時的な支援を行うことができた。

また、必要に応じて生活困窮者生活サポート事業の活用や生活・就労支援センターとの連携を図り、生活安定の一助につなげた。

○ **生活福祉資金貸付事業 ※県社協受託事業**

低所得世帯・高齢者世帯・身体障がい者世帯の経済的自立及び生活意欲の助長並びに社会参加の促進を図り、安定した生活を営めるようにすることを目的に低利で資金を貸し付けるとともに、民生児童委員による必要な援助・指導を行った。

1 **生活福祉資金貸付状況**

- ・ 貸付決定件数：76件（令和3年度：71件）
- ・ 貸付決定総額：17,476,000円（令和3年度：15,463,000円）

成果

生活・就労支援センターや各地区保健福祉センター、民生児童委員等と連携を図りながら、生活困窮者が抱える複合的な問題に対し、多面的な支援を行うことができた。

関係
資料
P.85

○ **法外援護事業の実施**

行路人に対し、いわき市から市外に転出するまでの旅費（交通費）と食糧等を支給。

- ・ 令和4年度支給実績 7件、5,200円（令和3年度：17件、9,800円）

成果

旅費と一時的な食糧等を支給することにより、市外へ転出するための一助となった。

<p>○ 生活困窮世帯見舞金配分事業の推進</p> <p>歳末たすけあい運動の一環として、在宅の生活困窮世帯（生活保護世帯を除く。）が、新たな年を迎えることができるよう支援することを目的に、歳末見舞金を支給した。</p> <p>・ 給付実績 478 世帯 1,002 名 6,352,000 円 （令和3年度 527 世帯 1,133 名 7,088,000 円）</p> <p>* 給付額：1世帯10,000円を基本とし、家族が1人増えるごとに3,000円を加算。</p> <p>成果</p> <p>民生児童委員が友愛訪問を兼ねて見舞金を支給することで、生活困窮世帯が抱えるさまざまな相談も受けるとことができ、対象世帯の心のケアが図られた。</p>	<p>関係資料 P.82</p>
<p>基本計画1-6 社会的孤立対策の充実（自殺、ひきこもり、犯罪者の社会復帰）</p>	
<p>実施項目／実施内容</p>	<p>備考</p>
<p>○ 住民支え合い事業</p>	<p>再掲 P.6</p>
<p>○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.4 ～5</p>
<p>○ 各種事業の開催（地域の居場所づくり等）</p> <p>○ 勿来地区</p> <p>地域の居場所づくり（子どものための料理教室／こども食堂）</p> <p>開催日：毎月、第3金曜日 年11回 共催：勿来地区ボランティア連絡会 場所：勿来公民館 参加者：参加親子 延べ48世帯181名 ボランティア 延べ89名 内容：カレー作り、季節の料理・デザート作り 協力：家庭相談員・民生児童委員・一般ボランティア</p> <p>成果</p> <p>子どもたちやその親を対象に定期的を開催することで、見守りや生活支援、自立の助長につながった。また、勿来地区ボランティア連絡会等、関係機関との連携も図ることができた。</p>	
<p>○ つどいの場創出支援事業（改編） ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.7</p>
<p>○ 子育てサロン事業</p>	<p>再掲 P.18</p>

<p>○ 生活支援相談員等配置事業（改編）※県社協受託事業</p> <p>1 東日本大震災被災者への支援</p> <p>被災者の生活復興支援のため平成23年7月から生活支援相談員を配置し、災害公営住宅等における見守り、相談、福祉制度の情報提供、被災者を中心とした交流の場づくり等を行った。</p> <p>また、令和4年4月から福島県社協で「地域共生社会における個別支援を基盤とする地域支援の展開」を図るため「避難者地域支援コーディネーター」を新たに配置したことに伴い、本会では生活支援相談員と併せて配置し、避難元社協と協働連携により復興公営住宅（17団地）と立地地域との関係づくりの取組みを行った。</p> <p>(1) 避難者地域支援コーディネーター配置状況：2名（生活支援相談員と兼務）</p> <p>(2) 対象世帯数：17世帯（令和5年4月1日現在）</p> <p>(3) 訪問状況：432件（事業開始から延べ件数 143,423件）</p> <p>(4) 交流会実施回数：55回（事業開始からの開催回数 1,580回）</p> <p>(5) 交流会参加人数：415名（事業開始からの参加人数 26,746名）</p> <p>(6) 避難元5社協と連携した復興公営住宅への訪問状況：358件</p> <p>成果</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、定期訪問や交流会活動に制限があるなかで、電話面談や短時間での訪問を行う等、対象者が孤立しないような支援を行うとともに、必要に応じて生活・就労支援センターや地域包括支援センター等の関係機関につなぎ、被災者の相談に適切に対応することができた。</p> <p>また、避難元5社協（楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町）と連携した訪問活動を行うことで、復興公営住宅全体の情報を共有することができた。</p>	
<p>○ 地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば）※市受託事業</p>	再掲 P.19
<p>○ いわき市屋内遊び場管理運営事業（いわきっずもりもり）※市受託事業</p>	再掲 P.20
<p>基本計画1-7 多文化との共生</p>	
<p>実施項目／実施内容</p>	備考
<p>○ 住民支え合い事業</p>	再掲 P.6
<p>○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業</p>	再掲 P.4 ～5
<p>○ いわき・ふれあい・ふくし塾事業 ※市受託事業</p>	再掲 P.21
<p>○ 青少年福祉体験学習事業</p>	再掲 P.23 ～24

○ サマーショートボランティアスクール事業	再掲 P.24 ～25
-----------------------	-------------------

基本目標2 支え合い、誰もが安心できる地域をつくるために	
基本計画2-1 福祉意識の醸成	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.6
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.4 ～5
○ いわき・ふれあい・ふくし塾事業 ※市受託事業	再掲 P.21
○ 各種事業の開催（ボランティア活動育成・世代間交流等）	
<p>1 ボランティア活動育成</p> <p>ボランティア活動を推進するための講座を開催し、地域福祉の推進に必要なボランティアの強化を図った。</p> <p>○平地区 学生×福祉教育で考える「ふくし」（新規） 開催日：令和4年11月から令和5年3月まで 内 容：地域の子育て支援について考える 参加者：東日本国際大学生9名</p> <p>○小名浜地区 ボランティア研修会を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>○勿来地区 高校生のためのボランティア講座（新規） 開催日：令和5年1月6日 場 所：勿来工業高校 内 容：VR認知症体験 参加者：10名</p> <p>○内郷地区 ボランティア講座（新規） 開催日：令和4年7月22日 場 所：いわき総合高校 内 容：VR認知症体験 参加者：12名</p>	

○四倉地区

ボランティア育成講座

開催日：令和4年11月18日

場 所：四倉商工会館

内 容：「ボランティア講座」

講 師：福祉レクリエーション・ネットワーク in ふくしま 代表 七海多美子氏

参加者：15名

○小川地区

ボランティア講座（全6回）

1 開催日：令和4年 9月27日

場 所：上ノ原公民館

内 容：栄養講話と骨密度

講 師：株式会社マルト商事

参加者：10名

2 開催日：令和4年10月25日

場 所：上ノ原公民館

内 容：健康講話、フレイル予防体操

講 師：小川・川前地区保健福祉センター健康係職員

参加者：9名

3 開催日：令和4年11月22日

場 所：上ノ原公民館

内 容：認知症予防講話、認知症すごろく

講 師：小川・川前地区地域包括支援センター職員、ウエル薬局薬剤師

参加者：10名

4 開催日：令和4年12月22日

場 所：上ノ原公民館

内 容：詐欺被害に遭わないための講話

講 師：小川・川前地区地域包括支援センター職員

参加者：9名

5 開催日：令和4年11月29日

場 所：福岡多目的集会所

内 容：足指力の測定、介護予防体操

講 師：小川・川前地区地域包括支援センター職員

参加者：9名

6 開催日：令和5年 2月27日
場 所：小川公民館
内 容：血圧測定、健康講話と体操
講 師：小川・川前地区保健福祉センター健康係職員
参加者：15名

○好間地区

ボランティア講座
開催日：令和5年 2月21日
場 所：好間公民館
内 容：VR 認知症体験
講 師：保健福祉部地域包括ケア推進課職員
参加者：10名

○三和地区

ボランティア講座
開催日：令和4年11月16日
場 所：三和ふれあい館
内 容：「VR 認知症体験」
講 師：保健福祉部地域包括ケア推進課職員
参加者：24名

○田人地区

ボランティアの養成
開催日：令和4年10月20日
場 所：田人支所 第2会議室
内 容：「住民支え合い活動づくり事業がなぜ必要か？」
講 師：入旅人わが町協力隊 289 代表 緑川恵氏
参加者：20名

○久之浜・大久地区

ボランティア研修会及び児童福祉スクールを予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

成果

コロナ禍であったが、各種講座の開催により、認知症への理解や、今後のボランティア活動につなげるきっかけとなった。

2 世代間交流事業

児童と高齢者との交流の場を提供し、子どもたちの福祉の心を育むとともに、高齢者の生きがいをづくりを目的として開催した。

○常磐地区

世代間交流

開催日：令和5年 3月22日

場 所：常磐公民館

内 容：地域住民と高校生がフラダンスを通しての交流

講 師：いわき湯本高等学校 フラダンス部

参加者：回覧で募集した常磐地区内の住民10名

○内郷地区

防火 de ふれあう

開催日：令和4年11月12日

場 所：内郷消防署

内 容：防災用品の配布、交通安全、防火啓発活動・友愛訪問

参加者：46名

○四倉地区

地域交流事業を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○遠野地区

多世代交流事業

開催日：令和5年 3月 6日

場 所：上遠野公民館

内 容：春の和菓子作り

講 師：李家裕子氏

参加者：31名

○三和地区

敬老交流会

開催日：令和4年11月 2日

場 所：三和小・中学校

内 容：昔遊び・わら細工

参加者：24名

ふれあい交流会を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○田人地区

青少年地域交流事業

開催日：令和4年11月29日

場 所：田人ふれあい館・田人小・中学校

内 容：面白マジックショー・昼食会

参加者：小中学生57名、高齢者16名

○川前地区

青少年福祉体験学習

開催日：令和4年12月 9日

場 所：桶売中学校

内 容：正月飾りを教わりひとり暮らし高齢者へ配布

参加者：18名

○久之浜大久地区

ひとり暮らし高齢者招待事業

開催日：令和4年11月3日

場 所：久之浜第一小学校 体育館

内 容：閉じこもりにならないよう公民館祭へお楽しみ券で招待し、地域の方との交流

参加者：144名

成果

コロナ禍であったが、地域ならではの取り組みを通し、世代間の交流を図り、青少年の福祉意識の醸成と、高齢者の健康増進につなげることができた。

○ 青少年福祉体験学習事業

再掲
P.23
~24

○ サマーショートボランティアスクール事業

再掲
P.24
~25

○ いわき市総合社会福祉大会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、式典のみの開催とし、社会福祉事業に貢献し、業績が顕著な方々に対しての表彰・感謝状の贈呈を行った。

<第48回いわき市総合社会福祉大会>

開催日	令和4年11月19日(水)	
開催場所	いわき芸術文化交流館 アリオス	
記念講演	演題：『ごぼう先生の介護予防講座』 講師：株式会社GOBOU 代表取締役 築瀬 寛 氏	
参加者数	受賞者のみ	
表彰等	1 市長感謝状贈呈	7名
	2 大会会長表彰状贈呈	86名
	3 大会会長感謝状贈呈	13名 / 3団体
	計	106名 / 3団体

(令和3年度：185名 / 10団体)

(開催までの経過)

令和4年8月10日 第48回いわき市総合社会福祉大会事務局会議 (社会福祉センター)
9月14日 第48回いわき市総合社会福祉大会運営委員会 (社会福祉センター)

成果

令和元年東日本台風、及び新型コロナウイルス感染症の影響で式典のみの挙行が続いていたが、4年ぶりに式典及び記念講演を挙行することができ、盛大な大会とすることができた。

○ **各種大会への参加**

令和4年11月11日に二本松市で開催された第76回福島県社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、表彰受賞者及びその引率者のみの招待となったため、一般参加者(役職員)の招集はなく、受賞者から1名の参加となった。

○ **広報紙の発行**

社会福祉協議会の取り組みへの理解と協力をいただくためにいわき市社協だよりを発行した。各地区協議会においても広報紙を発行し、情報提供と理解の促進に努めた。

なお、編集にあたっては、役員と職員からなる広報委員会を設置し、より分かりやすく、親しみやすい構成に努めた。

1 **いわき市社協だよりの発行**

- 発行部数：115,000部
- 発行状況：令和4年 7月 8日 いわき市社協だより第143号
9月20日 " 第144号
令和5年 1月20日 " 第145号
4月20日 " 第146号

2 **地区協議会だよりの発行**

地区	発行部数	地区	発行部数
平	35,700	小川	2,600
小名浜	24,500	好間	4,400
勿来	15,600	三和	1,300
常磐	12,000	田入	800
内郷	10,000	川前	500
四倉	5,100	久之浜・大久	1,700
遠野	1,800	合計	116,000

成果

広報紙を用いての事業紹介や報告等、広く市民に向けて情報を提供することにより、活動への参加や事業への協力を得ることができ、情報発信の重要な役割を担うことができた。

<p>○ ホームページ及びフェイスブック等による情報発信 本会の事業等の情報をホームページ及び Facebook に掲載し、情報提供に努めた。</p> <p>成果 タイムリーな情報更新に努め、本会事業の情報発信および事業周知ができた。</p>	
<p>基本計画 2-2 地域福祉の担い手づくり</p>	
<p>実施項目／実施内容</p>	<p>備考</p>
<p>○ 住民支え合い事業</p>	<p>再掲 P.6</p>
<p>○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.4 ～5</p>
<p>○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.7</p>
<p>○ 各種事業の開催（ボランティア活動育成・住民支え合い活動連絡会等）</p> <p>1 ボランティア活動育成</p> <p>○ 常磐地区 情報交換会 開催日：令和 5 年 3 月 2 3 日 場 所：常磐支所 内 容：地区内の社会資源の共有を図った 参加者：20 名</p> <p>2 住民支え合い活動連絡会等</p> <p>○ 勿来地区 ボランティア講座 開催日：令和 5 年 3 月 2 2 日 場 所：勿来支所 内 容：住民支え合い(第 3 層協議体)実施地区及び新規立ち上げ地区意見交換会 参加者：第 3 層協議体地区及び新規立ち上げ地区代表者 10 名</p> <p>成果 地区内の社会資源の把握や 3 層協議体の実施状況の意見交換をすることで、情報の共有が図られた。</p>	<p>再掲 P.38 ～42</p>
<p>○ 福祉職場での実習生の受け入れ及び連絡調整</p> <p>福祉の職場実習先として、本市出身の社会福祉専門職を目指す大学生を積極的に受け入れるとともに、他の福祉職場での実習に関する連絡調整を行い、社会福祉を担う人材の育成・支援</p>	

に努めた。

	受入期間	備考
社会福祉援助技術現場実習 社会福祉現場実習	令和4年7月4日 ～8月5日	東日本国際大学（2名） 東北福祉大学（1名）
	合計	2校（3名）

*令和3年度：1校（1名）

成果

実習生の受け入れを行うことにより、実際の現場を肌で感じてもらいながら専門職としての価値規範、専門的知識や経験等を学んでもらうなど、これからの福祉を担っていく人材の育成に貢献することができた。

○ **各種福祉講座等へ職員を講師として派遣**

保健福祉行政に新たに携わる職員向け講座の講師として職員を派遣し、社会福祉を担う人材の育成・支援に努めた。

- 令和 4年 6月29日 保健福祉行政新任者研修（いわき市役所）
- 8月24日 いわき市基礎手話講習会（サン・アビリティーズ）
- 令和 5年 2月 8日 新任民生委員・児童委員研修会（文化センター）

○ **青少年福祉体験学習事業**

再掲
P.23
～24

○ **サマーショートボランティアスクール事業**

再掲
P.24
～25

○ **広報紙の発行**

再掲
P.43

基本計画 2-3 福祉ボランティア活動などの推進

実施項目／実施内容

備考

○ **住民支え合い事業**

再掲
P.6

○ **住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業**

再掲
P.4
～5

○ **各種事業の開催（ボランティア活動育成・ボランティア連絡会等）**

1 **ボランティア活動育成**

再掲
P.38
～42

2 **ボランティア連絡会等**

○ **小名浜地区**

ボランティア連絡会を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

<p>○ 青少年福祉体験学習事業</p>	<p>再掲 P.23 ～24</p>
<p>○ サマーショートボランティアスクール事業</p>	<p>再掲 P.24 ～25</p>
<p>○ 福祉活動支援バス借上げ助成事業の実施</p> <p>市内で活動する福祉団体及びボランティア団体等が、バスを借上げて各種研修会や大会等に参加するのを支援するとともに、地域福祉の向上に寄与することを目的に、バス借上げ費用の一部を助成している。</p> <p>(助成は、年1回。バス借上げ経費の50%、3万円上限。1泊以上の場合は、5万円上限。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成団体数 7団体 (令和3年度: 1団体) ・助成金 210,000円 (令和3年度: 30,000円) <p>成果</p> <p>コロナ禍で研修会の中止等が続いていたが、研修会の再開を支援することができた。</p>	
<p>○ いわき市ボランティア連絡協議会の活動の支援</p> <p>ボランティア団体の充実強化やボランティア活動の振興を図る目的で組織された「いわき市ボランティア連絡協議会」が取り組む活動を支援した。</p> <p>令和4年 6月11日 ボランティア連絡協議会定期総会 10月15日 いわき市ボランティア団体交流会 令和5年 2月18日 いわき市内ボランティア団体活動紹介&交流会</p> <p>成果</p> <p>ボランティア連絡協議会と連携することにより、本市のボランティア活動の発展につなげることができた。</p> <p>また、ボランティア団体交流会を3年ぶりに開催することができた。</p>	
<p>○ いわき市老人クラブ連合会の活動の支援</p> <p>「いわき市老人クラブ連合会」の事務局を担い、高齢者作品展と芸能祭、さらには、各単位老人クラブが実施する一人暮らし高齢者への友愛訪問など、高齢者の社会参加や生きがいづくり、健康増進を図ることを目的に実施するさまざまな活動を支援した。</p> <p>令和4年 7月21日 シルバーピアード2022 第1回実行委員会 シルバー歌謡祭 ” 8月17日 シルバーフェア2022 第1回実行委員会 9月13日 高齢者の健康料理教室 (県主催) 9月22日 ふれあいニュースポーツ大会 (県主催) 10月12日 シルバーピアード2022</p>	

10月13日	シルバーフェア 2022	第2回実行委員会
18日	第25回福島県高齢者芸能発表会	中止
26日	シルバー歌謡祭	
31日	グランド・ゴルフ交流大会	第1回実行委員会
11月29日	グランド・ゴルフ交流大会	第2回実行委員会
30日	シルバーフェア 2022 芸能祭	中止
12月7日	グラウンド・ゴルフ交流大会	
15日	シルバーフェア 2022 創作展(～19日)	
令和5年3月25日	地域の寺子屋推進事業(田人地区)	
28日	地域の寺子屋推進事業(勿来地区)	

成果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、感染予防対策を講じながらの事業実施となったが、地域福祉活動の担い手となる高齢者の健康増進に寄与することができた。

○ **広報紙の発行**

再掲
P.43

○ **ボランティア活動センター運営事業**

- (1) ボランティア相談・登録の状況
- | | |
|---------------|-------------------------|
| ニーズ受付件数 | 24件(令和3年度:49件) |
| マッチング件数 | 4件(令和3年度:5件) |
| 新規個人ボランティア登録数 | 3名(令和4年3月末登録者数:236名) |
| 新規団体ボランティア登録数 | 3団体(令和4年3月末登録団体数:116団体) |

成果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くのボランティア活動が制約を受けたが、地域住民や施設等からのボランティアの依頼に応じ、地域活動に貢献することができた。

○ **ボランティア保険の加入促進**

市民が安心して、継続的にボランティア活動ができるよう、ボランティア活動中のさまざまな事故による負傷などへの備えや、活動先からの賠償責任を求められたときに補償する、全国社会福祉協議会ボランティア活動保険などへの加入を促進した。

1 **ボランティア活動保険**

プラン	保険料 (掛金)	加入者数
基本プラン	350円	719名
天災・地震保障プラン	500円	208名
大規模災害特例	500円	12名
特定感染症重点プラン	550円	1,236名
合計		2,175名

(令和3年度:2,456名)

2 ボランティア行事用保険

- ・ 加入申込み件数 21件/1,924名（令和3年度：11件/552名）

成果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くのボランティア活動が制限されたが、安全に活動できるよう保険加入の促進に努めた。

また、住民支え合い活動に取り組む支え合いサポーターに対しては、本会の助成により、特定感染症重点プランの加入を行い、安全かつ安心して活動ができるよう体制構築を図った。

○ ボランティアルームの貸し出し

ボランティア相互の情報交換や交流の場、さらには活動拠点として、ボランティア団体を対象にボランティアルーム等を無料で提供しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、用途目的に応じた貸出となった。

ボランティアルームの貸出（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

提供場所	いわき市社会福祉センター 1階	利用件数	利用者数
利用時間	午前9時から午後9時	169件	763名
利用料	無料（要予約）		

（令和3年度：85件 374名）

- ・ 録音室の貸出 382件（令和3年度：282件）
※利用者数 801名（令和3年度：650名）
- ・ コピー機の提供 339件（令和3年度：224件）
- ・ ロッカーの貸出 14台（18台中）

成果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くのボランティア活動が制約を受けたが、ボランティア相互の情報交換や交流の場として活用を図ることができた。

○ 災害ボランティアセンターの常設運営

平成29年4月から、災害ボランティアセンターを常設体制に切り替え、本市内外の大規模災害の対応や復興支援に関するボランティア活動の支援・調整等に取り組んできた。

1 いわき市総合防災訓練に伴ういわき市災害ボランティアセンター設置・運営訓練

開催日：令和4年11月26日

場 所：いわき市社会福祉センター

内 容：運営マニュアルに基づき運営者と災害ボランティア活動者に分かれ、受付からマッチングまでの実践訓練。

参加者：18名（本会職員・いわき市市民協働課職員・青年会議所・災害支援ネットワーク）

2 復興支援

災害公営住宅入居者等を対象とした交流会（サロン）やイベントへのボランティアコーディネートによる地域コミュニティづくり

<復興支援ボランティアの活動状況>

- ・ボランティア活動者数 28名（令和3年度：33名）
- ・サロン・イベント件数 10件（令和3年度：29件）

成果

策定した災害ボランティアセンター運営マニュアルに基づき、市及び災害時相互協定によるいわき青年会議所や災害支援団体等と共に災害ボランティアの実践訓練をすることが出来た。

また、復興支援においては、ボランティアを活用したサロンやイベントの開催により、災害公営住宅団地等で、普段顔の合わせることのない住民同士の交流につながった。

○ 災害見舞金配分事業

火災、水害等の罹災者に対し、福島県共同募金会より配分を受けて、見舞金の支給を行った。

地区名	災害内容件数（件）				配分額（円）
	火災	床上浸水	その他	合計（件）	
勿来	1	0	0	1	10,000
常磐	1	0	0	1	10,000
内郷	1	0	0	1	10,000
小川	1	0	0	1	5,000
計	4	0	0	4	35,000

（令和3年度：18件 225,000円）

*見舞金の額は罹災者1世帯当たり10,000円（半焼、床上浸水は5,000円）、死亡者1名につき10,000円を加算。

○ ボランティア基金の運営（ボランティア活動助成事業）

福祉活動に関わる地域住民・民間団体の自主的で継続的なボランティア活動の推進を図ることを目的として、ボランティア活動助成を行った。

- 1 募集期間 令和4年 4月 1日から4月28日まで
6月 3日から9月30日まで（追加申請期間）

2 ボランティア基金運営委員会の開催

開催日：令和4年5月20日

場 所：いわき市社会福祉センター

内 容：（1）委員長及び副委員長の選任について

（2）令和4年度いわき市ボランティア活動助成金配分について

3 ボランティア活動助成状況

助成団体：12 団体（令和 3 年度：14 団体）

助成総額：1,869,000 円（令和 3 年度：2,218,345 円）

成果

助成金の活用によりボランティア活動の活性化が図られ地域福祉の増進につながった。

○ 民間資金等の活用によるボランティア団体の活動支援

民間の公益補助団体等がボランティアの育成支援を目的に実施する活動資金助成事業について情報提供するとともに、申請手続きの支援等を通じてボランティア団体等の活動を支援した。

〈助成金の名称〉

- (1) 公益財団法人 大和証券福祉財団「2022 年度（第 29 回）ボランティア活動助成」
- (2) 公益財団法人 みずほ教育福祉財団「第 39 回老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業」
- (3) 公益財団法人 キリン福祉財団「キリン・福祉のちから開拓事業」
- (4) 公益財団法人 福島県総合社会福祉基金「助成事業・貸付事業」
- (5) 公益財団法人 SOMPO 福祉財団「住民参加型福祉活動資金助成」
- (6) 公益財団法人 ヤマト福祉財団「ヤマト福祉財団助成金」
- (7) 公益財団法人 ユニバーサル財団「特定活動助成」
- (8) 社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団「わかば基金」
- (9) 認定 NPO 法人 ふくしま NPO ネットワークセンター「2022 年度ふくしま元気活動助成金」

成果

登録ボランティア団体等への情報提供により、活動支援の強化が図られた。

○ 赤い羽根共同募金運動の推進

社会福祉施設や社会福祉団体等が行う民間社会福祉事業を財源面から支える赤い羽根共同募金を推進するとともに、通年型募金箱の設置箇所の開拓や街頭募金・職域募金等の拡充強化を図り、募金実績の増強に努めた。

〈推進期間〉 令和 4 年 10 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

〈募金額〉 46,800,642 円（令和 3 年度実績額：47,911,579 円）

（内 訳）

	募金額
1 戸別募金	38,981,459 円
2 街頭募金	40,992 円
3 法人募金	4,085,046 円
4 学校募金	2,063,907 円

5	職域募金	1,246,205 円
6	イベント募金	72,781 円
7	個人募金	116,844 円
8	その他の募金	193,408 円
	計	46,800,642 円

*街頭募金実施箇所 本部・平・常磐・内郷・四倉分会

*イベント募金実施箇所 常磐・遠野・小川・三和分会

成果

街頭募金・イベント募金の実施できた箇所もあったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、募金実績額が前年度より減少となったが、社会福祉施設や社会福祉団体等が行う民間社会福祉事業を財源面から支える赤い羽根共同募金としての役割を果たすことができた。

○ 歳末たすけあい運動の推進

支援を必要としている人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉・在宅福祉サービス事業を重点的に展開していくため、新たな年を迎える時期に、地域住民やボランティア、民生児童委員、社会福祉施設、さらには関係機関や団体等の協力のもと「歳末たすけあい募金活動」を実施した。

<募金納入額> 24,510,897 円 (令和3年度: 24,841,648 円)

<配分状況>

	配分数	配分額
1 在宅見舞金配分	478 世帯	6,352,200 円
2 地域福祉事業配分		7,479,980 円
計		13,832,180 円

(令和3年度: 13,212,726 円)

成果

市民への歳末たすけあい募金運動の周知と理解が得られた。

基本計画 2-4 見守り支援体制の整備

実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.6
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.4 ~5

<p>○ つどいの場創出支援事業（改編） ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.7</p>
<p>○ 各種事業の開催（高齢者友愛訪問・夕食宅配サービス等）</p> <p>福祉推進委員・民生児童委員の協力を得て、地区内のひとり暮らし高齢者宅等を訪問し、安否確認や心配事等に対応していくとともに、地域の支えあいを目的として実施した。</p> <p>○遠野地区</p> <p>在宅支援友愛訪問 開催日：令和4年12月16日 場 所：遠野管内 対象世帯：135世帯 内 容：シクラメンの鉢植えをプレゼント 協 力 者：29名（福祉推進員20名、民生児童委員9名）</p> <p>○小川地区</p> <p>高齢者いきいき訪問事業（新規） 開催日：令和4年 7月25日 場 所：小川管内 対象世帯：275世帯 内 容：熱中症予防の呼びかけと世帯の把握 協 力 者：21名（幹事1名、民生児童委員20名）</p> <p>ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業 開催日：令和5年 2月17日 場 所：小川管内 対象世帯：167世帯 内 容：心配ごと相談、話し相手、交通安全・防犯・悪質商法対策の情報提供 協 力 者：22名（幹事4名、民生児童委員22名）</p> <p>○田人地区</p> <p>熱中症予防対策事業 開 再 日：令和4年 8月18日 場 所：田人管内 対象人数：340名（延べ） 内 容：スポーツドリンクを届けながら脱水症予防の声掛け・安否確認の実施 協 力 者：15名（民生児童委員）</p> <p>にこにこ配食サービス事業 開催日：令和4年11月 5日及び11月12日 場 所：田人管内 対象人数：340人名（延べ） 内 容：お弁当の配食・安否確認の実施 協 力 者：15名（民生児童委員）</p>	

○川前地区

歳末たすけあい友愛訪問（新規）

開催日：令和4年11月15日

場所：川前管内

対象人数：68名

内容：シクラメン花鉢配布・安否確認の実施

協力者：15名（福祉推進員5名、民生児童委員10名）

○久之浜・大久地区

夕食宅配サービス事業

開催日：令和4年12月10日

場所：久之浜・大久地区内

対象者：155名

内容：温かいお弁当を手渡ししながら、安否確認と相談活動

協力者：17名（民生児童委員）

成果

他者との交流の機会をとおり、一人暮らし高齢者の孤独感の解消を図り、日頃からの見守り体制の構築につなげることができた。

○ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業の実施

いわき市老人クラブ連合会が、単位老人クラブごとに組織的に実施する「ひとり暮らし高齢者等への友愛訪問活動事業」に対し、歳末たすけあい運動の一環として助成金（400,000円）を交付し、その活動を支援した。

- ・ 訪問実績 303名（寝たきり高齢者 50名、ひとり暮らし高齢者 253名）
（令和3年度：256名（寝たきり高齢者 34名、ひとり暮らし高齢者 222名）

成果

地域内のひとり暮らし高齢者等を訪問活動することで、会員の拡充と高齢者が安心して暮らすための地域づくりにつなげることができた。

○福祉情報誌配布と見守り訪問事業の実施

歳末たすけあい運動の一環として、緊急連絡カード（兼）救急医療情報キットを配備しているひとり暮らし高齢者等に対し、民生児童委員の協力を得て、日常生活に役立つ保健・福祉情報を盛り込んだ「健康カレンダー」を配布するとともに、見守りや相談援助活動を行い、高齢者が地域で安心して生活できるよう支援した。

- ・ 健康カレンダーを市内16,000世帯に配布

成果

高齢者が安心して暮らすための各種情報として、社協事業の紹介と併せ、いわき市・地域包括支援センター・警察署等の取り組みを紹介し、身近な相談窓口の広報周知につながった。

○ 子育てサロン事業	再掲 P.18
○ 生活困窮者生活サポート事業（たすけあい子育てフードバンク事業を改編）	再掲 P.11 ～13
○ 地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば） ※市受託事業	再掲 P.19
○ いわき市屋内遊び場管理運営事業（いわきっずもりもり） ※市受託事業	再掲 P.20

○ 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業

緊急連絡カード（兼）救急医療情報キットの配付を通して、ひとり暮らし高齢者世帯・避難行動要支援者名簿登録者等の見守りや、日常生活全般にわたる自立支援、事故防止等のサポート体制づくりに努めた。

<配備状況>

（単位：名）

地区名	配備者数	地区名	配備者数	地区名	配備者数
平	1,688	四倉	387	田人	114
小名浜	1,045	遠野	151	川前	108
勿来	809	小川	172	久之浜・大久	236
常磐	501	好間	470	計	6,603
内郷	712	三和	210		

（令和3年度 6,740名）

成果

ひとり暮らし高齢者等や避難行動要支援者名簿登録者の情報を把握することができ、地域内で孤立しがちな住民の発見と見守り体制の構築につなげることができた。

○ 避難行動要支援者マップ作成事業 ※市受託事業

市の総合防災訓練の実施地区をマップ作成地区として指定し、懇談会を開催して「避難行動要支援者マップ」を作成し、地域住民が支えあい、支援していく仕組みの構築・強化に努めた。

また、いわき市総合防災訓練における地区別訓練へ各地区協議会職員が参画し、関係機関及び地域住民等と災害時の避難訓練を実施した。

地区別指定地域一覧

地区名	指定地域	開催日	場 所
平	赤井地区	令和4年 9月 1日	赤井公民館
小名浜	上神白地区	令和4年 6月26日	上神白集会所
勿来	中田9区	令和4年 7月14日	安良町公民館
常磐	藤原斑堂地区	令和4年10月12日	常磐支所
内郷	白水6区	令和4年 7月 8日	川平集会所

四 倉	本町地区	令和4年 9月14日	本町集会所
小 川	上滝地区	令和4年 9月17日	上滝公民館
好 間	中好間地区	令和4年 7月12日	中好間集会所
田 人	貝泊地区	令和4年 7月17日	荷路夫集会所
川 前	沢尻地区	令和4年 8月19日	沢尻公民館

成果

令和4年度末で市内114地区でのマップ作成となった。令和元年東日本台風による浸水被害の状況を振り返り、改めて行政区等を単位として、住民同士の情報共有や日頃から見守り合う体制を築くことの必要性を認識することができた。

○ **生活支援相談員等配置事業（改編） ※県社協受託事業**

再掲
P.37

○ **民生児童委員協議会・行政嘱託員連合協議会との連絡会の開催**

各地区の民生児童委員協議会長と行政嘱託員連合協議会長及び地区協議会会長との連携強化を図るため、令和4年度の事業計画及び事業等の説明及び会員会費の加入促進に理解と協力を得るとともに意見交換を行った。

開 催 日：令和4年 6月21日

開 催 場 所：いわき市社会福祉センター

成果

民生児童委員協議会、行政嘱託員連合協議会と連携を図ることで、会員会費の推進強化、住民支え合い活動や要援護者の把握や見守り活動など、本会が重点事業に掲げた住民主体の支え合い活動の充実につなげることができた。

○ **民生児童委員協議会・行政嘱託員連合協議会との連携**

1 **民生児童委員との連携強化**

情報交換や協働を通じて、地域福祉や在宅福祉を円滑に進めるよう努めた。

(1) 民生児童委員と連携する主な事業

- ① 生活福祉資金貸付事業
- ② 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業
- ③ 住民支え合い活動づくり事業
- ④ 住民支え合い事業
- ⑤ つどいの場創出支援事業
- ⑥ 共同募金関係事業
- ⑦ 歳末配分事業
- ⑧ 歳末配分援護世帯の調査及び見舞金の支給

<p>(2) 地区協議会において単位民協定例会へ出席し、情報交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 社協関係事業情報提供 ② 各種調査による情報収集 <p>2 行政嘱託員（区長）との連携強化</p> <p>さまざまな地域活動の中核として活動されている行政嘱託員・区長との連携を強化し、募金活動や地域福祉活動への協力をいただきながら、地域福祉の向上に努めた。</p> <p>(1) 行政嘱託員・区長と連携する主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 住民支え合い活動づくり事業 ② 住民支え合い事業 ③ 会員会費の推進 ④ 共同募金運動の推進 ⑤ 社協広報紙の配布 ⑥ つどいの場創出支援事業 	
<p>基本計画 2 - 5 虐待防止体制の充実</p>	
<p style="text-align: center;">実施項目／実施内容</p>	<p style="text-align: center;">備考</p>
<p>○ 住民支え合い事業</p>	<p>再掲 P.6</p>
<p>○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.4 ～5</p>
<p>○ つどいの場創出支援事業（改編） ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.7</p>
<p>○ 各種事業の実施（介護者友愛訪問・在宅介護者支援・虐待防止講座等）</p> <p>日頃、寝たきり高齢者等の介護に専念されている介護者を対象に、花鉢を届けながら交流し、在宅介護者の精神安定につなげることを目的に実施した。また、子どもや高齢者、障がい者の権利を守るために必要な知識や制度についての講座も開催した。</p> <p>○四倉地区 虐待防止講座（新規）</p> <p>開催日：令和4年10月11日</p> <p>場 所：四倉商工会館</p> <p>内 容：「子どもを桃廊！見守りサポーター養成講座」</p> <p>講 師：CAP いわき</p> <p>参加者：35名</p>	

○三和地区

介護者・ほっと一息支援事業

開催日：令和4年11月26日

場所：三和管内

対象世帯：19世帯

内容：友愛訪問による花鉢のプレゼント

協力者：9名（民生児童委員）

○田人地区

在宅介護者との交流事業

開催日：令和4年12月15日

場所：田人管内

対象世帯：20世帯

内容：友愛訪問による花鉢のプレゼント

協力者：8名（民生児童委員）

○久之浜・大久地区

在宅介護者支援事業

開催日：令和5年2月7日

場所：久之浜・大久管内

対象世帯：18世帯

内容：友愛訪問による慰労品のプレゼント

協力者：17名（民生児童委員）

成果

花鉢を届けることにより交流の機会が得られ、在宅介護者に寄り添い、心身の慰労につなげることができた。また、子ども虐待防止の養成講座では、虐待についての理解を深めることができた。

○ 子育てサロン事業	再掲 P.18
○ 生活困窮者生活サポート事業（たすけあい子育てフードバンク事業を改編）	再掲 P.11 ～13
○ 地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば） ※市受託事業	再掲 P.19
○ いわき市屋内遊び場管理運営事業（いわきっずもりもり） ※市受託事業	再掲 P.20
○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート） ※県社協受託事業	再掲 P.17
○ 成年後見（法人後見）事業	再掲 P.16

○ 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業	再掲 P.54
○ 介護保険事業	再掲 P.25 ～27
○ 産前・産後ヘルパー派遣事業 ※市受託事業	再掲 P.20 ～21
基本計画 2 - 6 相談・支援機関のネットワーク強化	
実施項目／実施内容	備考
○ 福祉総合相談事業	再掲 P.32
○ 子育てサロン事業	再掲 P.18
○ 地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば） ※市受託事業	再掲 P.19
○ いわき市屋内遊び場管理運営事業（いわきっずもりもり） ※市受託事業	再掲 P.20
○ 生活困窮者生活サポート事業（たすけあい子育てフードバンク事業を改編）	再掲 P.11 ～13
○ 重層的支援体制整備事業における多機関協働事業（新規） ※市受託事業	再掲 P.2
○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート） ※県社協受託事業	再掲 P.17
○ 成年後見（法人後見）事業	再掲 P.16
○ 生活支援相談員等配置事業（改編） ※県社協受託事業	再掲 P.37
○ 車椅子同乗移送用自動車貸出事業・車椅子同乗貸出事業	再掲 P.29 ～30
○ 介護保険事業	再掲 P.25 ～27
基本計画 2 - 7 避難行動要支援者支援制度の充実	

実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.6
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.4 ～5
○ 避難行動要支援者マップ作成事業 ※市受託事業	再掲 P.54 ～55
○ 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業	再掲 P.54
○ 避難者行動要支援者登録の推進 「避難者行動要支援者マップ」の作成のための懇談会を通し、地域における要支援者の把握に努めるとともに、必要とされる方への避難行動要支援者登録について勧奨した。	
○ いわき市総合防災訓練への参画 いわき市総合防災訓練における地区別訓練へ各地区協議会職員が参画し、関係機関及び地域住民等と災害時の避難訓練を実施した。 ・いわき市総合防災訓練 開催日：令和4年 7月23日 場 所：小名浜地区、勿来地区、常磐地区、遠野地区、好間地区 開催日：令和4年11月26日 場 所：内郷地区、四倉地区、遠野地区、好間地区、田人地区 成果 災害時における、関係機関との連携方法や本会職員の担うべき役割等を確認することができた。	
○ 福祉避難所の支援 いわき市と福祉避難所への人材派遣に関する協定に基づき、大規模災害発生時において、福祉避難所が設置され要請があった場合は、介護等に従事する職員を派遣することとなっていることから、派遣に備えた介護等従事職員の体制を図った。	
基本計画 2 - 8 防犯対策の充実	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.6

○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.4 ～5
○ 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業	再掲 P.54
基本計画 2-9 交通移動手段や住まいの確保	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.6
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.4 ～5
基本計画 2-10 権利擁護・成年後見の充実	
実施項目／実施内容	備考
○ 福祉総合相談事業	再掲 P.32
○ 生活・就労支援センター運営事業 ※市受託事業	再掲 P.8 ～10
○ 重層的支援体制整備事業における多機関協働事業（新規） ※市受託事業	再掲 P.2
○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート） ※県社協受託事業	再掲 P.17
○ 成年後見（法人後見）事業	再掲 P.16
○ 生活困窮者生活サポート事業（たすけあい子育てフードバンク事業を改編）	再掲 P.11 ～13

基本目標 3 健康で自分らしい暮らしをつくるために	
基本計画 3-1 健康づくりの推進	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.6

○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.4 ～5																																				
○ つどいの場創出支援事業（改編） ※市受託事業	再掲 P.7																																				
○ 子育てサロン事業	再掲 P.18																																				
○ 各種事業の実施（地域健康増進活動・地域配食サービスボランティア等）	再掲 P.52 ～53																																				
<p>○ 百歳賀寿の実施</p> <p>百歳の高齢者に対し記念品を贈呈し、その長寿を祝い、あわせて市民の間に広く高齢者福祉についての関心と理解を深めるとともに、高齢者の健康の増進に努める意欲を高めた。</p> <table border="1" data-bbox="194 833 1318 1178"> <thead> <tr> <th>居住地区</th> <th>贈呈者 (名)</th> <th>居住地区</th> <th>贈呈者 (名)</th> <th>居住地区</th> <th>贈呈者 (名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平</td> <td>31</td> <td>四倉</td> <td>6</td> <td>田人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>小名浜</td> <td>16</td> <td>遠野</td> <td>5</td> <td>川前</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>勿来</td> <td>19</td> <td>小川</td> <td>2</td> <td>久之浜・大久</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>常磐</td> <td>10</td> <td>好間</td> <td>6</td> <td>計</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>内郷</td> <td>7</td> <td>三和</td> <td>1</td> <td colspan="2">(令和3年度：95名)</td> </tr> </tbody> </table>	居住地区	贈呈者 (名)	居住地区	贈呈者 (名)	居住地区	贈呈者 (名)	平	31	四倉	6	田人	1	小名浜	16	遠野	5	川前	0	勿来	19	小川	2	久之浜・大久	4	常磐	10	好間	6	計	108	内郷	7	三和	1	(令和3年度：95名)		
居住地区	贈呈者 (名)	居住地区	贈呈者 (名)	居住地区	贈呈者 (名)																																
平	31	四倉	6	田人	1																																
小名浜	16	遠野	5	川前	0																																
勿来	19	小川	2	久之浜・大久	4																																
常磐	10	好間	6	計	108																																
内郷	7	三和	1	(令和3年度：95名)																																	
基本計画 3-2 保健医療体制の充実																																					
	実施項目／実施内容																																				
○ 介護保険事業	備考 再掲 P.25 ～27																																				
○ 障がい者福祉サービス事業	再掲 P.30 ～31																																				
○ 身体障がい者訪問入浴サービス事業	再掲 P.31																																				
<p>○ 保健・医療・福祉関係の各種会議等への参画</p> <p><いわき市社会福祉審議会></p> <p>令和 4年 9月20日 第1回民生委員審査専門分科会（いわき市役所）</p> <p>12月16日 第1回児童福祉専門分科会（文化センター）</p> <p>令和 5年 3月22日 第2回児童福祉専門分科会（文化センター）</p>																																					

<いわき市情報公開・個人情報保護審議会>

令和 4年10月 5日 委嘱状交付式及び第1回審議会（いわき市役所）

令和 5年 3月23日 第2回審議会（いわき市役所）

<いわき市国民健康保険運営協議会>

令和 4年 5月18日 第1回運営協議会（文化センター）

7月14日 東北地方国保運営協議会代表者連絡協議会（ホテル青森）

～15日

9月14日 国民健康ポスター審査

9月28日 福島県国民健康保険運営協議会総会
（ホテル福島グリーンパレス）

10月 7日 国民健康ポスター入賞者表彰式（文化センター）

令和 5年 2月 1日 第2回運営協議会（文化センター）

<いわき市表彰選考委員会>

令和 4年 4月19日 令和4年度表彰選考委員会（書面開催）

<健康いわき推進会議>

令和 4年 4月16日 第20回健康いわき21推進市民大会（アリオス）

11月 2日 第1回会議（いわき市役所）

令和 5年 2月 4日 第21回健康いわき21推進市民大会（文化センター）

<いわき市児童館運営委員会>

令和 4年 7月 5日 第1回運営委員会（いわき市役所）

<いわき市地域自立支援協議会>

令和 4年 5月26日 第1回協議会（オンライン）

10月20日 第2回協議会（文化センター）

<いわき市権利擁護支援ネットワーク推進運営委員会>

令和 4年 8月 9日 第1回委員会（いわき市役所）

11月22日 第1回受任調整・個別検討部会（市総合保健福祉センター）

<奨学生選考委員会>

令和 4年 4月19日 令和4年度選考委員会（いわき市役所）

<いわき市社会福祉施設事業団>

令和 4年 5月27日 第123回理事会（市健康・福祉プラザ）

令和 5年 1月27日 第124回理事会（市健康・福祉プラザ）

3月22日 第125回理事会（市健康・福祉プラザ）

<日本赤十字社福島県支部>

令和 4年 6月17日 第1回評議員会 (ホテル福島グリーンパレス)

令和 5年 2月 6日 第2回評議員会 (ウエディングエルティ)

<いわき都市圏総合都市交通推進協議会>

令和 4年 6月21日 第5回協議会 (書面開催)

<いわき市まちづくり市民会議>

令和 4年 6月27日 第1回会議 (文化センター)

10月25日 第2回会議 (いわき市役所)

令和 5年 3月 8日 第3回会議 (いわき市役所)

<いわき市立地適正化計画評価等専門委員会>

令和 4年 9月22日 第5回会議 (書面開催)

<いわき市防災会議>

令和 4年 7月27日 第1回会議 (書面会議)

令和 5年 3月24日 第2回会議 (オンライン)

<いわき市地域包括ケア推進会議>

令和 4年 9月30日 第1回会議 (書面開催)

令和 5年 3月20日 第2回会議 (いわき市役所)

<介護保険運営協議会>

令和 4年 8月 1日 第1回会議 (オンライン)

11月10日 第2回会議 (オンライン)

令和 5年 2月 9日 第3回会議 (いわき市役所)

<いわき市要保護児童対策地域協議会>

令和 5年 3月15日 代表者会議 (文化センター)

<要保護児童対策地域協議会実務者会議>

令和 5年 2月 2日 第2回実務者会議 (いわき市文化センター)

<いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動>

令和 4年10月25日 全体会議 (いわき市役所)

令和 5年 3月 8日 全体会議 (いわき市役所)

<いわき市中心市街地活性化協議会>

令和 4年 5月24日 総会 (ワシントンホテル)

<いわき市社会を明るくする運動>

令和 4年 5月25日 監査（市社会福祉センター）
5月30日 第72回推進委員会（書面審議）

<いわき市障がい者職親会>

令和 4年 5月27日 総会（文化センター）

<福島県精神保健福祉協会いわき支部>

令和 4年 6月 2日 役員会（書面審議）
8月18日 総会（書面審議）

<いわき市医療センター病院経営評価委員会>

令和 4年 7月26日 第1回会議（医療センター）
1月16日 第2回会議（医療センター）

<いわき市脱炭素社会推進パートナーシップ会議>

令和 4年11月24日 第1回会議及び宣言式（文化センター）

<いわき市脱炭素社会実現プラン策定検討会議>

令和 5年 2月10日 第1回策定検討会議（生涯学習プラザ）
3月23日 産業・民生業務部門ワーキンググループ（生涯学習プラザ）

<地球にやさしい“ふくしま”県民会議いわき地方会議>

令和 4年 8月 1日 第1回会議（合同庁舎）

<県社協関係>

令和 4年 6月 8日 福島県社会福祉協議会理事会（県社会福祉センター）
7月15日 市町村社協連協事務局長会 相双・いわき地区連絡会
（相馬市社会福祉協議会）
8月 5日 市町村社協連協事務局長会 会長・副会長会議
（福島県総合社会福祉センター）
9月 2日 市町村社協連絡協議会第1回専門委員会
（南東北総合卸センター）
9月21日 市町村社協連協会会長・事務局長会議（オンライン開催）
11月 2日 市町村社協連絡協議会第2回専門委員会（オンライン開催）
12月 8日 市町村社協連絡協議会第3回専門委員会（オンライン開催）
令和 5年 1月11日 市町村社協連協事務局長会 相双・いわき地区連絡会
（相馬市社会福祉協議会）
1月24日 市町村社協連協事務局長会 会長・副会長会議
（福島県男女共生センター）
2月 9日 市町村社協連絡協議会第4回専門委員会（オンライン開催）
3月 2日 福島県社会福祉協議会副会長会議

(ピックパレットふくしま)	
3月 3日	市町村社協連協会会長・事務局長会議及び 社会福祉トップセミナー（オンライン開催）
3月 7日	福島県社会福祉協議会理事会（ホテル福島グリーンパレス）
3月31日	福島県社会福祉協議会理事会（県社会福祉センター）
<県防災会議>	
令和 5年 3月20日	令和4年度会議（オンライン）

基本計画3-3 産業、教育など保健福祉以外の様々な分野との協働	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.6
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.4 ～5
○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業	再掲 P.7
○ 各種事業の実施（青少年地域交流・福祉風土づくり等）	
○ いわき市総合社会福祉大会の開催	再掲 P.42 ～43
○ 各種大会への参加	再掲 P.43
○ ボランティア活動センター運営事業	再掲 P.47

組織および組織運営	
1 組織体制	
実施項目／実施内容	備考
○ 理事会・評議員会	
令和4年 5月23日 第1回理事会（書面審議）	
〔報告〕	
1 理事の退任及び補充選任について	
〔議事〕	
1 評議員会の開催について	

5月31日 第1回評議員会（書面審議）

〔議事〕

- 1 理事補充の選任について

6月15日 第2回理事会

〔報告〕

- 1 職務執行状況報告について
- 2 理事補充の選任について

〔議事〕

- 1 役員等の報酬等に関する規程の改正について
- 2 指定居宅介護支援事業所運営規程の改正について
- 3 令和4年度資金収支補正予算について
- 4 令和3年度事業報告について
- 5 令和3年度決算の承認について
(監 査 報 告)
- 6 評議員選任候補者の推薦について
- 7 評議員選任・解任委員会の開催について
- 8 定時評議員会の開催について

6月30日 第2回評議員会

〔報告〕

- 1 指定居宅介護事業所運営規程の改正について

〔議事〕

- 1 役員等の報酬等に関する規程の改正について
- 2 令和4年度資金収支補正予算について
- 3 令和3年度事業報告について
- 4 令和3年度決算の承認について
(監 査 報 告)
- 5 理事補充の選任について

9月26日 第3回理事会

〔報告〕

- 1 職務執行状況報告について
- 2 令和5年度職員採用候補者試験の結果について

〔議事〕

- 1 育児・介護休業等に関する規則の改正について
- 2 ホームヘルパー給与等規程の改正について
- 3 介護職員等ベースアップ等支援加算手当の支給に関する規程の
制定について
- 4 非常勤ヘルパーサービス規程の改正について

12月16日 第4回理事会

〔報告〕

1 職務執行状況報告について

〔議事〕

1 令和4年度資金収支補正予算について

2 評議員会の開催について

12月26日 第3回評議員会

〔議事〕

1 令和4年度資金収支補正予算について

令和5年 3月16日 第5回理事会

〔報告〕

1 職務執行状況報告について

2 令和5年度職員採用候補者について

〔議事〕

1 事務局組織規程の改正について

2 職員就業規則の制定について

3 育児・介護休業等に関する規則の改正について

4 職員給与規程の改正について

5 臨時職員就業規則の制定について

6 再雇用職員給与規程の制定について

7 嘱託職員給与規程の制定について

8 臨時職員給与規程の制定について

9 ホームヘルパー等給与規程の改正について

10 職員退職手当規程の改正について

11 職場におけるハラスメントの防止に関する規程の改正について

12 地区協議会設置規程の改正について

13 経理規程の改正について

14 令和4年度資金収支補正予算について

15 役員等賠償責任保険契約について

16 令和5年度事業計画について

17 令和5年度資金収支当初予算について

18 評議員会の開催について

3月24日 第4回評議員会

〔報告〕

1 令和5年度職員採用候補者について

2 事務局組織規程の改正について

3 職員就業規則の制定について

<p>4 職員給与規程の改正について 5 臨時職員就業規則の制定について 6 再雇用職員給与規程の制定について 7 嘱託職員給与規程の制定について 8 臨時職員給与規程の制定について 9 役員等賠償責任保険契約について</p> <p>〔議事〕</p> <p>1 令和4年度資金収支補正予算について 2 令和5年度事業計画について 3 令和5年度資金収支当初予算について</p> <p>3月30日 第6回理事会（書面審議）</p> <p>〔議事〕</p> <p>1 いわき市社会福祉センター清掃等業務委託契約について</p>	
<p>○ 監査の実施</p> <p>令和 4年 6月 8日 市社協監査</p> <p>監事による監査を受け、適正処理であることの承認を得る</p>	
<p>○ 各種専門委員会の実施</p> <p>【評議員選任・解任委員会】</p> <p>令和 4年 6月22日 評議員の選任について</p> <p>【広報委員会】</p> <p>令和 4年 6月 9日 令和4年度いわき市社協だより発行計画及び作業計画について いわき市社協だより第143号掲載内容・承認について</p> <p>8月24日 いわき市社協だより第144号掲載内容・承認について</p> <p>12月16日 いわき市社協だより第145号掲載内容・承認について</p> <p>令和 5年 3月16日 いわき市社協だより第146号掲載内容・承認について</p> <p>【衛生委員会】</p> <p>令和 4年4月から令和5年3月まで（毎月開催）</p>	
<p>○ 地区幹事会・福祉推進会の実施</p> <p>地区住民の福祉向上に寄与するため、地区の保健・医療・福祉・教育及び関連団体の代表者等で構成される幹事会及び福祉推進会を各地区において開催し、地域に密着した福祉活動の円滑な推進を図った。</p>	
<p>○ 福祉推進委員等役員研修の実施</p> <p>地域福祉活動に対する一層の理解と協力を得るために、地区協議会の福祉推進委員等を対象に各種の研修を行っているが、令和4年度は、小名浜・常磐地区協議会を除く11地区協議会において、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。</p>	

○小名浜地区協議会

開催日 令和5年3月23日

研修先 栃木県防災館（栃木県宇都宮市）

参加者 23名

社協・民協合同研修会

開催日：令和5年2月24日

場 所：小名浜市民会館

内 容：講話『「みんなのお勝手」いつだれ kitchen の今とこれから』

講師 特定非営利法人 布紗 中崎とし江氏

いわき市地域医療課 総括主査 猪狩 僚氏

参加者：100名（福祉推進員・民生児童委員）

○常磐地区協議会

開催日 令和5年3月2日

研修先 東日本大震災・原子力災害伝承館、震災遺構浪江請戸小学校

参加者 25名

2 財源および財務運営

実施項目／実施内容

備考

○ 会員会費の推進

1 正会員及び特別会員会費の推進

全戸加入を目標として行政嘱託員の協力をいただきながらチラシの全戸配布や会費の納入のとりまとめを行うなど会員の確保に努めた。

- ・ 正会員世帯数 78,391 世帯
- ・ 納入額 38,993,560 円

<推進期間>

	推進地区
7月	平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久

<会費納入額>

	納入額
1 正会員会費	38,993,560 円
2 特別会員会費	1,502,000 円
計	40,495,560 円

<令和2年度から令和4年度までの会費納入額の推移>

	R 2	R 3	R 4	前年度増減	対前年度比
1 正会員会費	39,785,690 円	39,573,890 円	38,993,560 円	△580,330 円	98.5%
2 特別会員会費	1,436,000 円	1,486,000 円	1,502,000 円	16,000 円	101.0%
合計	41,221,690 円	41,059,890 円	40,495,560 円	△564,330 円	98.6%

2 企業会員及び団体（法人施設）会員会費の推進

新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、安全かつ効率的に実施するため、昨年度同様、原則、『振込み』による納入とした。

- ・ 企業会員数 722 企業
- ・ 納入額 8,460,000 円

<令和2年度から令和4年度までの企業会員会費納入額の推移>

	R 2	R 3	R 4	前年度増減	対前年比
企業会員会費	9,040,000 円	8,610,000 円	8,460,000 円	△150,000 円	98.2%

関係資料
P.88
～89

(2) 団体（法人施設）会員会費推進状況

加入数	納入額
64 団体	640,000 円

<令和2年度から令和4年度までの法人会員会費納入額の推移>

	R 2	R 3	R 4	前年度増減	対前年比
法人会員会費	680,000 円	660,000 円	640,000 円	△20,000 円	96.9%

成果

前年度と比較すると、正会員会費が1.5%、企業会員会費が1.8%、団体（法人施設）会員会費が3.1%減額し、特別会員会費が1.0%増額している。令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、安全かつ効率的に実施するため、昨年度同様、原則、『振込み』による納入を継続したことで令和3年度に引き続き減額となったが、企業会員会費については、未納入企業に対し、電話や訪問での対応を行ったことから昨年度より減額率を抑えられたものと考えられる。

本会の事業を展開していくうえで会員会費は必要不可欠な財源であることから、社協の事業に対する理解を得ながら、今後も継続した会費の納入と新規の加入促進に努めていく必要があり、新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が5類に移行となること等を踏まえ、訪問等による推進の再開も視野に入れ検討する。

○ 共同募金運動の推進

再掲
P.50
～51

○ ボランティア基金の運営

再掲
P.49
～50

○ 職場内研修の実施

事務事業の実践能力の向上、専門性の向上、組織人としての成長が、市民サービスと組織の活性化に直結することから、職務を通じた研修やテーマごとの研修会を開催するなど、計画性と継続性をもって職員の資質向上に努めた。

<地域福祉事業関係>

令和4年	4月15日	新採用職員研修
	4月22日	文書実務研修（1回目）
	4月27日	第1回職員会議
	4月28日	文書実務研修（2回目） ※初回参加出来なかった職員が対象
	6月28日	第2回職員会議
	8月31日	住民支え合い活動づくり事業・住民支え合い事業第1回担当者会議
	10月6日	住民支え合い活動づくり事業・住民支え合い事業第2回担当者会議
	12月23日	住民支え合い活動づくり事業・住民支え合い事業第3回担当者会議
令和5年	1月25日	第3回職員会議
	3月23日	住民支え合い活動づくり事業・住民支え合い事業第4回担当者会議

<ホームヘルプセンター関係>

（毎週開催）	居宅支援事業所定例会
（毎月開催）	訪問介護事業所定例会 / 訪問入浴事業所定例会

○ 職場外研修の実施

全国・福島県社会福祉協議会、さらにはさまざまな団体等が実施する研修会や講習会等へ職員を積極的に派遣した。

<地域福祉活動事業関係>

令和4年	6月28日	保健福祉行政新任者研修（いわき市役所）
	～29日	
	7月14日	市町村社会福祉協議会職員研修【新任職員編】
	～15日	（ふくしま医療機器開発支援センター）
	10月21日	令和4年度支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム （オンライン研修）
	11月24日	市町村社会福祉協議会労務管理研修会（オンライン）
	11月25日	令和4年度地域福祉コーディネーターリーダー研修会 （オンライン研修）
	11月28日	多様な人材を確保するためのオンラインセミナー ～採用につなげる Instagram 活用方法～（オンライン）
	12月13日	多様な人材を確保するためのオンラインセミナー ～多様な人材の活躍のヒント！～（オンライン）
令和5年	1月31日	市町村社会福祉協議会オンラインサロン（オンライン）

個別支援から地域づくりを考える①【生活困窮者自立支援事業編】

2月 6日 令和4年度長野県・移動サービス事例報告会（オンライン）

2月10日 市町村社会福祉協議会オンラインサロン（オンライン）

【生活支援体制整備事業編】

2月17日 市町村社会福祉協議会オンラインサロン（オンライン）

個別支援から地域づくりを考える②【生活支援体制整備事業編】

<ボランティアセンター事業関係>

令和 4年 6月20日 令和4年度災害ボランティアセンター運営研修【基礎編】
（県社会福祉センター）

令和 5年 1月18日 災害ボランティアセンターマネジメント研修会モデル研修
（全国社会福祉協議会）

<日常生活自立支援事業関係>

令和 4年 5月17日 あんしんサポート第1回関係職員ミーティング（オンライン）
あんしんサポート契約締結審査会（オンライン）

6月 9日 あんしんサポート新任者担当研修会（オンライン）

7月12日 あんしんサポート第2回関係職員ミーティング（オンライン）

8月30日 あんしんサポートに係る実施要項等改正検討会（オンライン）

9月13日 あんしんサポート第3回関係職員ミーティング（オンライン）

あんしんサポート契約締結審査会（オンライン）

9月20日 専門員実践力強化研修Ⅰ【A日程】（オンライン）

9月28日 あんしんサポート市町村社協連絡会議（県社会福祉センター）

10月 4日 専門員実践力強化研修Ⅰ【A日程】（オンライン）

11月 8日 あんしんサポート第4回関係職員ミーティング（オンライン）

あんしんサポート契約締結審査会（オンライン）

12月 6日 あんしんサポートに係る令和5年4月実施要項等改正説明会
（オンライン）

令和 5年 1月17日 あんしんサポート第5回関係職員ミーティング（オンライン）
あんしんサポート契約締結審査会（オンライン）

1月31日 あんしんサポート生活支援員実働者研修
（いわき市社会福祉センター）

2月15日 令和4年度あんしんサポート専門員・担当職員学習会
（オンライン）

3月 6日 BBCによる地域後見システムの機能・操作説明会（オンライン）

3月14日 あんしんサポート第6回関係職員ミーティング（オンライン）
あんしんサポート契約締結審査会（オンライン）

<法人後見事業関係>

令和 4年11月16日 第1回法人後見従事者養成研修（いわき市文化センター）

12月21日 第2回法人後見従事者養成研修(いわき市文化センター)

<被災者支援事業関係>

令和 4年 4月21日 第1回避難者地域支援コーディネーター連絡会議及び
第1回避難者地域支援コーディネーター研修会
(ビックパレットふくしま)

4月26日 第1回いわき市内復興公営住宅見守り連携会議
(いわきニュータウンビル)

5月30日 第2回いわき市内復興公営住宅見守り連携会議
(いわきニュータウンビル)

8月 5日 第1回相双・いわき地区被災者見守り相談支援調整会議(富岡町)

6月 6日 いわき市内における避難者地域支援コーディネーター活動に
関する局長等会議(富岡町役場いわき支所)

6月20日 復興公営住宅入居者(介護予防)支援の意見交換会
(いわき合同庁舎)

6月21日 いわき市内避難者地域支援コーディネーター情報交換会及び
いわき市社協地区協議会との連携会議
(いわき市社会福祉センター)

6月22日 生活支援相談員基礎研修(南東北総合卸センター)

6月29日 第2回避難者地域支援コーディネーター研修会
(福島県農業総合センター)

7月20日 いわき市内避難者地域支援コーディネーター情報交換会
(浪江町社会福祉協議会いわき詰所)

7月29日 第3回いわき市内復興公営住宅見守り連携会議
(富岡町役場いわき支所)

8月 5日 第1回相双・いわき地区被災者見守り・相談支援調整会議
(富岡町文化交流センター)

9月 2日 第4回いわき市内復興公営住宅見守り連携会議
(富岡町役場いわき支所内)

9月30日 市町村社会福祉協議会生活支援員等テーマ別研修会(第1回)
(ふくしま医療機器開発支援センター)

10月28日 第5回いわき市内復興公営住宅見守り連携会議
(いわきニュータウンセンタービル)

11月30日 市町村社会福祉協議会生活支援員等テーマ別研修会(第4回)
(ビックパレットふくしま)

12月23日 第6回いわき市内復興公営住宅見守り連携会議
(富岡町役場いわき支所)

令和 5年 1月17日 復興・災害公営住宅支援のための心のケア研修
(いわき産業創造館)

2月 1日 いわき市内における避難者地域支援コーディネーター活動に

関する局長等会議（いわき市社会福祉センター）

- 2月17日 いわき市復興公営住宅自治会交流会（いわき市中央台公民館）
- 2月24日 第2回福島県被災者見守り・相談支援調整会議（オンライン）
- 3月2日 復興公営住宅入居者支援実務者会議（いわき合同庁舎）
- 3月3日 生活支援相談活動管理職・担当者全国連絡会議（オンライン）
- 3月9日 第2回避難者地域支援コーディネーター連絡会議
（ピックパレットふくしま）
- 3月23日 いわき市内における避難者地域支援コーディネーター活動に
関する局長等会議（いわき市社会福祉センター）

<生活福祉資金貸付事業関係>

- 令和5年3月17日 コロナ特例貸付借受世帯等に対するフォローアップ支援説明会
（オンライン）

<福祉人材センター協力指定事業関係>

- 令和4年5月13日 第1回福祉人材センター協力指定事業担当者会議（オンライン）
- 12月8日 第2回福祉人材センター協力指定事業担当者会議（オンライン）

<生活困窮者自立相談支援事業関係>

- 令和4年6月15日 いわき市障がい者職親会勉強会（いわき産業創造館）
- 7月13日 令和4年度生活福祉資金担当職員研修会（オンライン）
- 10月21日 令和4年度自立相談支援事業従事者養成研修（オンライン）
- 11月25日 福島県ヤングケアラー支援者研修会（オンライン）
- 12月8日 令和4年度生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修
～ 9日（オンライン）

<ホームヘルプセンター関係>

- 令和4年5月18日 第1回平地区介護支援専門員交流会（オンライン）
- 6月20日 第1回平ヘルパー事業所交流会（オンライン）
- 9月15日 第3回平地区介護支援専門員事例検討会（オンライン）
- 11月30日 介護支援専門員 専門研修Ⅱ（オンライン）
- 12月1日 ”
- 12月7日 ”
- 12月8日 ”
- 令和5年1月18日 第5回平地区介護支援専門員交流会（オンライン）

住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況

地区名	相談件数 (計)	相談内容内訳 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)										実利用者数	サービス 実施件数	関係機関等 へ情報提 供・相談	登録 サポーター
		話し相手	ゴミ出し	片付け・重 い物の移動	電球交換	買物代行	草引き	その他							
平	16(16)	2(3)	7(1)	3(2)	0(2)	2(1)	1(2)	1(5)	5(6)	4(14)	5(13)	56(38)			
小名浜	9(13)	0(3)	1(3)	2(1)	0(2)	2(1)	1(1)	3(2)	2(7)	2(7)	0(0)	39(21)			
勿来	9(21)	0(0)	0(5)	1(1)	1(1)	2(5)	3(4)	2(5)	7(3)	0(3)	2(1)	48(42)			
常磐	20(14)	2(0)	4(1)	1(1)	0(1)	0(1)	9(7)	4(3)	10(8)	10(9)	0(0)	32(24)			
内郷	3(11)	0(2)	1(1)	1(0)	1(0)	0(0)	0(3)	0(5)	0(4)	0(4)	2(3)	40(32)			
四倉	5(9)	0(0)	2(3)	0(1)	0(1)	0(0)	2(1)	1(3)	1(4)	1(1)	0(5)	13(14)			
遠野	1(4)	0(0)	2(2)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(2)	1(1)	4(4)	0(0)	2(2)			
小川	0(5)	0(0)	0(2)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(3)	0(1)	0(1)	0(1)	9(9)			
好間	13(5)	0(0)	0(0)	1(1)	1(0)	3(0)	0(0)	8(4)	3(1)	6(1)	4(0)	16(5)			
三和	0(1)	0(0)	0(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)	2(2)	0(0)	11(10)			
田人	3(6)	0(2)	0(1)	1(0)	0(0)	0(0)	1(2)	0(1)	2(4)	0(0)	0(0)	4(4)			
川前	0(2)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(1)	0(1)	0(0)	0(0)	0(1)	7(7)			
久之浜・大久	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)			
合計	79 (107)	4 (10)	18 (20)	10 (7)	3 (7)	9 (8)	17 (21)	20 (34)	33 (41)	29 (46)	13 (24)	277 (208)			

ア () は、令和3年度実績
イ 久之浜・大久地区は第3層協議体を実施主体とするため除く。

住民支え合い活動実施状況（第3層協議体）

地区名	登録 サポーター	実利用者数	活動延べ件数(令和4年4月1日～令和5年3月31日)				合計	会議・ 定例会等
			見守り・ 声掛け訪問	生活支援 (買物代行・ ゴミ出し等)	サロン・ つどいの場			
平	城山地区	24(20)	162(221)	37(49)	0(0)	199(270)	9(8)	
	鎌田地区	12(12)	164(138)	73(60)	8(6)	245(204)	1(1)	
小名浜	玉川町西区	24(29)	312(286)	148(113)	0(0)	460(399)	12(9)	
	永崎地区	7(16)	216(179)	0(0)	0(0)	216(179)	12(8)	
	玉露1・2区	47(46)	595(557)	5(0)	0(0)	600(557)	6(3)	
	岡小名第一東区	18(25)	208(177)	26(19)	0(0)	234(196)	3(1)	
勿来	上神白区	27(一)	0(一)	0(一)	0(一)	0(一)	0(一)	
	南台1・2区	7(7)	0(55)	2(10)	38(20)	40(85)	0(0)	
	関田地区	79(12)	51(49)	40(20)	12(5)	103(74)	3(2)	
	九面地区	0(0)	0(0)	0(0)	6(0)	6(0)	0(1)	
	金山西・南区	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(9)	
常磐	下船尾地区	21(20)	175(81)	0(0)	10(4)	185(85)	1(5)	
	上川地区	5(5)	138(105)	0(0)	0(0)	138(105)	0(4)	
	高坂9区	20(20)	105(108)	3(17)	1(6)	109(131)	11(10)	
内郷	高野地区	16(16)	180(192)	0(0)	14(12)	194(204)	12(12)	
	宮1区	11(16)	2(16)	7(0)	6(3)	15(19)	8(2)	
	高坂7区	10(10)	181(36)	62(136)	9(9)	252(181)	10(5)	
	宮12区	6(0)	1(0)	0(0)	8(0)	9(0)	8(3)	
四倉	新町地区	74(105)	510(888)	80(118)	41(24)	631(1,030)	4(4)	
	梅ヶ丘南地区	39(57)	521(601)	83(34)	20(9)	624(644)	6(5)	
	仲町地区	25(0)	45(0)	4(0)	10(0)	59(0)	10(0)	
遠野	上根本地区	8(8)	53(53)	0(0)	0(0)	53(53)	5(5)	
	入定地区	10(10)	75(75)	5(5)	0(0)	80(80)	9(9)	
	東山行政区	6(6)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	
	下滝行政区	16(16)	14(14)	0(0)	0(0)	14(14)	0(0)	
	関屋・落合地区	2(2)	31(31)	2(2)	0(0)	33(33)	6(6)	

地区名		登録 サポーター	実利用者数	活動延べ件数(令和4年4月1日～令和5年3月31日)				合 計	会議・ 定例会等
				見守り・ 声掛け訪問	生活支援 (買物代行・ ゴミ出し等)	サロン・ つどいの場			
遠 野	深山田地区	22(22)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)
	西根地区	9(9)	2(2)	0(0)	2(2)	0(0)	0(0)	2(2)	0(0)
	前田地区	7(7)	7(7)	65(65)	11(11)	0(0)	0(0)	76(76)	3(3)
	上遠野地区①	15(15)	9(9)	131(131)	122(122)	0(0)	0(0)	253(253)	4(4)
	上遠野地区②	14(14)	5(5)	2(2)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)	2(2)
小 川	入上・中野天王地区	10(10)	6(6)	48(48)	7(7)	0(0)	0(0)	55(55)	3(3)
	塩田地区	18(18)	12(10)	101(134)	11(125)	40(82)	0(0)	152(335)	0(1)
	山ノ入・淵沢地区	7(8)	8(9)	136(123)	10(113)	33(15)	0(0)	179(247)	0(0)
	江田・牛小川地区	35(38)	19(9)	373(40)	45(160)	23(6)	0(0)	441(206)	1(1)
	高萩地区	15(12)	1(1)	0(0)	7(10)	0(0)	0(0)	7(10)	1(1)
好 間	田代・沼平地区	11(13)	21(21)	210(231)	30(30)	19(12)	0(0)	259(244)	12(12)
	北二区	6(6)	20(4)	300(110)	96(0)	22(20)	0(0)	418(130)	11(12)
	椎木平地区	8(7)	3(23)	38(20)	0(0)	0(5)	0(0)	38(25)	8(5)
	中好間1・2区	13(0)	20(0)	169(126)	7(8)	14(12)	0(0)	190(146)	7(7)
	入旅人大字区	29(38)	36(27)	213(299)	85(117)	9(5)	0(0)	307(421)	8(6)
田 人	貝泊地区	22(0)	13(0)	100(0)	26(0)	10(0)	0(0)	136(0)	5(0)
	荷路夫地区	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	9(0)	0(0)	9(0)	5(0)
	山下谷地区	10(10)	8(9)	93(72)	3(32)	72(7)	0(0)	168(111)	0(0)
川 前	沢尻地区	6(5)	9(2)	62(16)	11(32)	44(6)	0(0)	117(54)	0(0)
	西町1区	20(22)	12(45)	111(53)	95(53)	36(23)	0(0)	242(129)	6(1)
久之浜・大久	中町区	11(11)	18(18)	84(43)	300(308)	9(5)	0(0)	393(356)	10(2)
	東町区	9(10)	4(0)	8(0)	14(0)	0(0)	0(0)	22(0)	1(0)
合 計	48地区	719 (653)	747 (665)	5,983 (5375)	1,460 (1714)	523 (296)	7,966 (7346)	228 (172)	

ア () は、3年度実績
イ 太字の地区は令和4年度新規地区

令和3年度いわき市ボランティア活動助成状況

No.	団体名/活動概要	申請事業名	助成額(円)
1	ラ・エトワール・ボランティア・グループ 社会福祉施設等を定期的に訪問して、ギターやピアノ等による演奏で音楽淘汰を通し、利用者と一緒に来しむ支援活動を行っている。	高齢者及び障がい者施設へ音楽慰問演奏に必要な音響機材整備事業	42,045円
2	災害支援ネットワークいわき(DSNID) いわき市内において災害時の民間による支援活動を効果的かつ協働して行うため平時・発災時を問わず広くネットワークを組み、被災地の状況や各自の取組みを共有し、行政との連絡調整、協働での取り組みの検討などを行うことにより、被災時だけ一人取り残されない支援の実現を目指す。	活動運営及びオンライン研修会などに必要なパソコン機器などの整備	193,000円
3	勿来地区ボランティア連絡会 勿来地区においてボランティア同士の横の連携を図り、活動の輪を広げていくために必要な情報提供や啓蒙・交流とボランティアの育成などを行っている。	広報活動に必要な広報紙発行事業	50,600円
4	子育てサポーターのつどい ★てんしのほほえみ★ 絵本の読み聞かせ会や、歌遊びなどを通して、子育て支援をすること及び地域文化（地域社会）の発展に寄与する活動を行っている。	「あきらめないで・・・ね！」CD政策配布事業	200,000円
5	地域コミュニティ匠の会 地域の職店高齢者世帯及び身体の不自由な方たちを支援する活動を行っている。（庭木生垣の剪定、除草、ゴミ出し代行、屋外清掃、障子・網戸の張替え等）	運営に関わる資機材の整備事業	200,000円
6	高齢者応援バンド グレイボーイズ 音楽活動を通して高齢者の認知症予防や生きがいづくりを目的とし、地域のイベントや交流にも積極的に参加し文化活動の充実を図る。	音楽活動に必要な機材整備事業	128,000円
7	子育てポピュラーズ 子育て不安の解消事業の一環として子育て中の家族と子供たちが集まり元気に子育てできる地域環境づくりを推進する。	子育て支援のための教材及び資料代・材料費	120,000円
8	いわき市重症心身障害児（者）と家族の会 スマイルリボン 重症心身障害児（者）とその家族同士の交流の場や、情報交換、ご家族の皆さんが楽しめるイベント等を企画し活動を行っている。	①リモートでの活動や会議などに必要な機材の整備 ②啓発活動のリーフレット作成	194,000円
9	視覚障害者サポートグループ ゆかり（緑） 中途視覚障害者のための外出の機会の創設や視覚障害者に対する理解を深めるための市民向けの講座を開催している。	視覚障害者サポーター講座の開催ト広報誌発行及び送付事業	200,000円
10	いわき市ボランティア連絡協議会 市内のボランティアグループ間の連携調整・情報収集・広報及び研修などの啓発活動を行っている。	広報紙発行及び送付事業	158,000円
11	いわき市社会福祉協議会(ボランティア活動センター) 地域住民や民間団体の自主的、継続的なボランティア活動の育成・指導及び進行を行っている。	ボランティア活動保険加入者に対する保険料の助成	132,700円
12	いつだれボランティア会 障がい者の安心安全を確保した社会参加の支援や作業の支援等を実施し、障がい者に対して理解のある地域社会をめざす活動を行っている。	食堂運営のための環境整備及び機材整備事業	200,000円
13	特定非営利活動法人 Commune with 助産師 助産師による、産前・産後ケア、子育て親子の交流支援、乳幼児家庭へのボランティアによる訪問支援を通して、行政・企業・地域住民と協力し、いわき市全体で出産・子育て環境をより良いものにしていくことを目的に活動している。	妊婦・乳幼児家庭を支援する地域の子育てボランティアの育成事業	200,000円
14	永崎女性の会 東日本大震災と原発事故で甚大な被害を受け、平成26年4月笑顔を取り戻したソクソクで地元元への貢献するため会を設立した。県復興公営住宅「下神田田」と市災害公営住宅「永崎田」の方々、江名中学校・小名浜海星高校・地元住民との交流会を実施している。	オータム花上交流会	200,000円
		助成配分総額	2,218,345円

令和4年度 社会福祉センター利用状況

令和5年3月31日現在

区分	令和4年度実績 (a)			令和3年度実績 (b)			比較増減 (a) - (b)		
	件数(件)	利用者数(人)	料金(円)	件数(件)	利用者数(人)	料金(円)	件数(件)	利用者数(人)	料金(円)
4月	6	110	6,000	11	263	33,000	△ 5	△ 153	△ 27,000
5月	11	128	21,600	8	88	12,000	3	40	9,600
6月	12	235	9,000	12	181	13,800	0	54	△ 4,800
7月	6	64	9,000	5	55	9,000	1	9	0
8月	15	202	17,000	7	66	7,800	8	136	9,200
9月	7	110	6,000	9	68	9,000	△ 2	42	△ 3,000
10月	11	210	18,000	11	168	12,000	0	42	6,000
11月	7	61	12,000	11	188	31,400	△ 4	△ 127	△ 19,400
12月	11	168	6,000	8	130	6,000	3	38	0
1月	6	110	6,000	9	170	6,000	△ 3	△ 60	0
2月	10	142	9,000	11	127	6,000	△ 1	15	3,000
3月	15	331	70,200	11	187	15,000	4	144	55,200
計	117	1,871	189,800	113	1,691	161,000	4	180	28,800

令和4年度 福祉総合相談実績

相談所名	開設日数	相談者数	
		男	女
福祉総合相談	246	1360	922

	性別																						合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
生計	142	1321	3	5	5	6	0	8	3	4	5	23	1	6	0	0	6	21	23	61	11	17	1671
解決	8	532	0	0	1	6	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	6	0	2	1	572
継続	19	20	0	5	2	3	0	0	3	3	0	0	0	1	1	0	2	2	6	2	0	2	71
紹介	3	8	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	8	0	2	1	2	26
その他	172	1881	3	10	8	15	1	11	9	7	5	23	2	7	1	0	8	35	35	65	14	22	2340

令和4年度 無料法律相談実績

相談所名	開設日数	性別	
		男	女
無料法律相談	12	30	34
相談者数		64	

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	合計	
	生計	貸付	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健衛生	医療	人権・法律	財産	事故	児童福祉・子育て	教育・青少年	障がい者(児)福祉	母子・父子福祉	老人福祉	住民支え合い	ボランティア	苦情	その他		
解決	1	2	0	4	3	5	0	8	0	0	4	21	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	53	
継続	0	1	0	0	1	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	
紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
合計	1	3	0	4	4	5	1	11	1	0	4	23	2	1	0	0	0	0	0	0	1	3	64	

令和4年度 生活福祉資金地区別取扱い状況一覧

取扱地区	貸付決定資金種類(件数・金額)												貸付決定総額(円)	
	総合支援資金		福祉資金		福祉資金(緊急小口資金)		教育支援資金		不動産担保型生活資金(要保護者向けを含む)		臨時特例つなぎ資金		件数	金額
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
平			1	60,000	21	1,090,000	4	4,862,000					26	6,012,000
小名浜			4	1,662,000	14	1,077,000	5	5,407,000					23	8,146,000
勿来	1	330,000	2	896,000	8	690,000					1	30,000	12	1,946,000
常磐			1	121,000	7	492,000	1	332,000					9	945,000
内郷					3	197,000							3	197,000
四倉													0	0
遠野													0	0
小川													0	0
好間					2	130,000							2	130,000
三和													0	0
田人													0	0
川前													0	0
久之浜大久					1	100,000							1	100,000
合計	1	330,000	8	2,739,000	56	3,776,000	10	10,601,000	0	0	1	30,000	76	17,476,000

令和4年度 新型コロナウイルスに伴う生活福祉資金地区別状況一覧

取扱地区	貸付決定資金種類(件数・金額)						貸付決定総額(円)	
	緊急小口資金		総合支援資金		件数	金額	件数	金額
	件数	金額	件数	金額				
平	107	20,900,000	118	61,800,000	225	82,700,000		
小名浜	86	17,100,000	97	53,250,000	183	70,350,000		
勿来	35	6,750,000	46	25,900,000	81	32,650,000		
常磐	34	6,700,000	37	19,800,000	71	26,500,000		
内郷	28	5,600,000	29	15,600,000	57	21,200,000		
四倉	7	1,400,000	11	5,400,000	18	6,800,000		
遠野	4	800,000	2	1,050,000	6	1,850,000		
小川	6	1,200,000	7	3,750,000	13	4,950,000		
好間	20	4,000,000	26	13,650,000	46	17,650,000		
三和	0	0	0	0	0	0		
田人	0	0	2	1,200,000	2	1,200,000		
川前	0	0	0	0	0	0		
久之浜大久	3	600,000	3	1,500,000	6	2,100,000		
合計	330	65,050,000	378	202,900,000	708	267,950,000		

令和4年度ホームヘルプセンター事業実施状況

《介護保険事業》	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
《業務状況》													
【居宅支援】													
(1)利用者数	151	148	145	145	138	139	137	139	136	132	127	126	1,663
①要介護度1	38	36	37	34	34	33	32	31	31	31	31	30	398
②要介護度2	38	33	32	34	32	30	29	31	30	30	28	29	376
③要介護度3	24	26	24	24	20	21	20	20	19	18	16	17	248
④要介護度4	9	9	9	9	10	10	12	12	12	12	11	11	126
⑤要介護度5	8	9	10	9	8	8	7	9	8	6	6	5	93
⑥暫定													0
⑦要支援 1	11	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	117
⑧要支援 2	23	25	23	25	24	27	27	27	27	26	26	25	305
⑨予防暫定													0
【訪問介護】													
(1)利用者数	32	31	33	36	37	34	34	37	35	34	36	35	414
暫定													
(2)予防	21	21	19	19	19	19	19	18	17	16	16	17	221
予防暫定													0
(3)実施回数	377	390	378	415	415	436	439	442	421	409	405	452	4,979
①生活援助	200	207	203	248	246	243	244	241	242	219	220	251	2,764
②身体生活	0	0	0	2	4	8	4	6	3	3	18	23	87
③身体介護	72	79	71	70	71	83	93	100	86	84	85	84	978
(予防)	105	104	104	95	94	102	98	95	90	87	82	94	1,150
【障がい福祉】													
(1)利用者数(介護)	17	16	12	11	11	9	10	10	10	9	9	9	133
(2)実施回数	93	94	72	63	60	48	57	65	52	48	45	39	736
【訪問入浴】													
(1)利用者	39	40	42	38	38	37	37	37	36	39	40	39	462
暫定													
(2)予防													0
予防暫定													
(3)実施回数	164	144	190	166	166	158	147	150	158	144	154	167	1,908
①入浴	159	143	183	163	159	146	144	146	153	143	153	164	1,856
②清拭	5	1	7	3	7	12	3	4	5	1	1	3	52
③予防入浴													0
④予防清拭													0
《委託事業》													
《業務状況》													
(1)利用者数(市内)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)調査件数(市内)	0	1	1	1	1	2	1	2	2	2	2	0	15
【身体障がい入浴】													
(1)利用者	8	8	8	8	8	9	8	8	9	8	8	7	97
(2)実施回数	51	46	52	51	48	47	46	50	53	46	47	56	593
①入浴	51	46	52	51	46	47	46	50	53	46	47	56	591
②清拭					2								2
稼働日	20	19	21	20	22	20	20	20	21	19	19	22	243
入浴全体の稼働率	3.583	3.333	3.841	3.617	3.242	3.417	3.217	3.333	3.349	3.333	3.526	3.379	3.431

居宅 CM 兼任 3 兼務(県届出 5人)

訪問入浴 3班

訪問介護 非ヘルパー-12・責任者3

(一)は①)⑨)の合計

令和4年度 正会員会費／特別会員会費地区別推進状況

令和5年3月31日現在
(単位:円)

地区名	正会員会費(A)	特別会員会費(B)	合計(C)=(A)+(B)	令和3年度実績(D)	比較増減(E)=(C)-(D)	前年度対比率(C)/(D)*100
平	10,370,990	356,000	10,726,990	10,958,400	△ 231,410	97.9%
小名浜	8,818,500	298,000	9,116,500	9,227,500	△ 111,000	98.8%
勿来	5,692,710	212,000	5,904,710	6,061,640	△ 156,930	97.4%
常磐	4,202,750	20,000	4,222,750	4,284,050	△ 61,300	98.6%
内郷	3,076,910	88,000	3,164,910	3,112,200	52,710	101.7%
四倉	2,115,000	60,000	2,175,000	2,175,500	△ 500	100.0%
遠野	731,500	42,000	773,500	774,000	△ 500	99.9%
小川	1,015,000	22,000	1,037,000	1,048,500	△ 11,500	98.9%
好間	1,494,700	74,000	1,568,700	1,557,600	11,100	100.7%
三和	442,500	60,000	502,500	544,500	△ 42,000	92.3%
田人	245,500	42,000	287,500	283,000	4,500	101.6%
川前	186,500	38,000	224,500	234,500	△ 10,000	95.7%
久之浜・大久	601,000	56,000	657,000	666,500	△ 9,500	98.6%
市社協取扱分	0	134,000	134,000	132,000	2,000	101.5%
計	38,993,560	1,502,000	40,495,560	41,059,890	△ 564,330	98.6%

企業会費推進状況（令和2年度～令和4年度）

令和5年3月31日現在
(単位:円)

地区名	令和2年度				令和3年度				令和4年度				備考
	令和2年度		令和3年度		令和3年度		令和4年度		令和4年度		前年度対比		
	企業数	納入額	企業数	納入額	企業数	納入額	企業数	納入額	企業数	納入額	企業数	納入額	
平	147	2,032,000	143	1,955,000	△ 4	△ 77,000	139	1,875,000	△ 4	△ 80,000			
小名浜	157	1,685,000	159	1,700,000	2	15,000	145	1,550,000	△ 14	△ 150,000			
勿来	117	1,435,000	109	1,360,000	△ 8	△ 75,000	113	1,380,000	4	20,000			
常磐	66	823,000	63	790,000	△ 3	△ 33,000	63	780,000	0	△ 10,000			
内郷	54	655,000	52	650,000	△ 2	△ 5,000	52	655,000	0	5,000			
四倉	46	490,000	46	485,000	0	△ 5,000	47	500,000	1	15,000			
遠野	44	440,000	34	340,000	△ 10	△ 100,000	38	380,000	4	40,000			
小川	19	180,000	19	185,000	0	5,000	18	180,000	△ 1	△ 5,000			
好間	58	580,000	47	475,000	△ 11	△ 105,000	46	480,000	△ 1	5,000			
三和	19	220,000	18	210,000	△ 1	△ 10,000	18	200,000	0	△ 10,000			
田人	16	160,000	16	160,000	0	0	16	160,000	0	0			
川前	9	110,000	9	110,000	0	0	9	110,000	0	0			
久之浜・大久	19	230,000	16	190,000	△ 3	△ 40,000	18	210,000	2	20,000			
計	771	9,040,000	731	8,610,000	△ 40	△ 430,000	722	8,460,000	△ 9	△ 150,000			

令和4年度 福島県共同募金いわき市共同募金委員会「共同募金」実績

令和4年4月1日～令和5年3月31日現在(単位:円)

	平	小名浜	勿来	常磐	内郷	四倉	遠野	小川	好間	三和	田人	川前	久之浜・大久	本部	令和4年度実績計	令和5年度実績計	増減額
戸別募金	21,034	16,650	11,772	8,605	6,062	4,217	1,473	2,036	2,884	885	490	386	1,199	0	77,693	78,821	△ 1,128
	10,524,863	8,643,890	5,816,170	4,199,200	2,941,890	2,108,500	736,500	1,014,000	1,516,026	442,500	245,000	193,000	599,500	0	38,981,459	39,334,663	△ 353,204
街頭募金	2	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	8
	5,696	0	0	3,653	7,772	15,110	0	0	0	0	0	0	0	8,761	40,992	0	40,992
法人募金	3	9	10	7	2	14	1	5	6	0	0	2	1	574	634	738	△ 104
	15,000	65,000	60,000	23,000	8,000	115,000	5,000	50,000	60,000	0	0	15,000	10,000	3,659,046	4,085,046	4,646,856	△ 561,810
学校募金	30	21	19	10	10	5	4	3	4	1	1	2	3	1	114	109	5
	746,740	447,460	258,042	161,428	162,797	93,864	38,093	42,800	52,707	13,925	13,486	7,756	24,744	65	2,063,907	2,473,093	△ 409,186
職域募金	115	35	30	22	33	14	6	8	19	9	7	4	4	10	316	367	△ 51
	480,460	114,875	115,420	96,825	199,479	22,100	7,600	16,990	11,575	21,800	9,059	6,263	6,600	135,159	1,246,205	1,143,858	102,337
イベント募金	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	4	0	4
	0	0	0	25,396	0	0	7,807	13,847	0	24,731	0	0	0	0	72,781	0	72,781
個人募金	2	0	0	1	1	0	0	0	4	0	0	0	5	6	19	8	11
	16,821	0	0	1,062	4,108	0	0	0	24,817	0	0	0	13,000	57,005	116,844	25,358	91,486
その他の募金	1	16	7	6	1	7	3	1	1	2	0	2	0	2	49	51	△ 2
	5	56,331	40,277	5,614	2	22,152	15,006	655	1	2,996	0	16,429	0	33,940	193,408	287,741	△ 94,333
実績額合計①	21,187	16,731	11,838	8,654	6,111	4,258	1,488	2,054	2,918	898	498	396	1,212	594	78,837	80,094	△ 1,858
	11,789,585	9,327,466	6,290,509	4,519,178	3,323,958	2,376,726	810,006	1,138,292	1,665,126	505,952	267,545	238,448	653,874	3,893,977	46,800,642	47,911,579	△ 760,154
目標額②	11,882,000	9,790,000	6,331,000	4,584,000	3,447,000	2,317,000	798,000	1,085,000	1,667,000	500,000	273,000	229,000	613,000	4,367,000	47,911,000	48,671,000	-
目標達成率③/②	99.2%	95.3%	99.4%	98.6%	96.4%	102.6%	101.5%	105.1%	99.5%	101.2%	98.0%	104.1%	101.7%	89.2%	97.7%	98.4%	-
前年度最終実績額④	11,882,632	9,790,915	6,331,809	4,584,258	3,447,587	2,317,712	798,686	1,083,300	1,667,290	500,220	273,559	229,115	643,624	4,360,873	-	-	-
実績額比増減率⑤	△ 93,047	△ 463,449	△ 41,300	△ 65,080	△ 123,629	59,014	11,321	54,992	△ 2,164	5,732	△ 6,014	9,333	10,250	△ 466,886	-	-	-